

令和4(2022)年度
学生募集要項
〔総合型選抜〕



弘前大学の総合型選抜への出願登録は、
インターネットにより行ってください。

インターネット出願サイト

<https://e-apply.jp/e/hirosaki-u/>



弘 前 大 学

HIROSAKI UNIVERSITY

〈 目 次 〉

■	令和4（2022）年度入学者選抜方法等の主な変更点及び 新型コロナウイルス感染症対策に伴う変更措置について	1
■	弘前大学における三つの方針（ポリシー）	3
①	募集人員	5
②	試験日程	6
③	選抜方法一覧	7
④	試験時間割等	
1.	総合型選抜Ⅰ	8
2.	総合型選抜Ⅱ	9
⑤	入学試験の実施方法等	
1.	インターネット出願登録及び検定料等払込み期間	10
2.	出願書類受付期間及び提出先	11
3.	出願書類等	12
4.	出願上の注意事項	14
5.	入学検定料等の返還について	14
6.	入学検定料の免除について	14
7.	障害等のある入学志望者の事前相談について	15
8.	インターネット出願の流れ	16
9.	受験票の印刷	19
10.	入学試験における感染症対応について	19
⑥	選抜方法等	
1.	総合型選抜Ⅰ	20
1-1	人文社会科学部	21
1-2	教育学部	23
1-3	理工学部	26
1-4	農学生命科学部	28
2.	総合型選抜Ⅱ	30
2-1	教育学部	30
2-2	医学部 医学科	34
2-3	医学部 保健学科	36
2-4	農学生命科学部	38
⑦	合格者の発表	40
⑧	入学手続	40
⑨	入学料及び授業料の減免について	41
⑩	学生寮への入寮について	42
⑪	合格しなかった場合の取扱い	43
⑫	入学試験個人成績の開示	43
⑬	個人情報の取扱い	43
⑭	各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	44
■	問合せ先一覧	60

令和4（2022）年度入学者選抜方法等の主な変更点及び新型コロナウイルス感染症対策に伴う変更措置について

令和3年7月 弘前大学

令和4（2022）年度入学者選抜要項の公表にあたり、前年度からの主な変更点及び新型コロナウイルス感染症対策に伴う変更措置を取りまとめました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う変更措置について、各学部等が「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示している入学者選抜の基本方針とは一部内容が異なることをご承知置き願います。

また、今後、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、募集要項の公表後や出願期間後であっても、やむを得ず、試験期日や選抜方法等を変更する場合があります。変更がある場合は、随時、本学ホームページ等でお知らせしますので、ご留意願います。

記

1. 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う措置

未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況が続いており、高等学校における各種のスポーツ・文化関係の行事・大会、学業に関連する課外活動等の実施が影響を受けていることを踏まえ、令和4年度入学者選抜については、下記のとおり変更して実施します。

1-1. 一般選抜における出願書類の取扱い

- 調査書 … 出願要件確認のため提出は求めるが、評価対象としない。
志望理由書 … 提出は求めず、評価対象としない。（医学部医学科、医学部心理支援科学科を除く）

令和4年度以降に大学進学を予定している高校生は、新型コロナウイルス感染症流行の影響を長期に渡って受けることとなり、地域によっては諸活動の制限により不利益を被る志願者もあることを踏まえ、一般選抜において「出願書類（調査書・志望理由書）」を評価することを予定していた学部では、当面、評価対象から「出願書類」を除きます。これにより配点合計が変更となります。

なお、医学部医学科においては、医師を目指す者としての資質を確認するために面接を行うこととしていますが、その面接で「出願書類」を参考資料として用いるため、調査書と志望理由書の両方の提出を求めます。

また、医学部心理支援科学科においては、将来、心理支援職に携わる職業人としての資質を確認する必要があり、特に当該学科での学びや心理支援職に対する理解度を測るため、「出願書類（志望理由書）」を評価の対象とします。

1-2. 総合型選抜における出願書類の取扱い

- 調査書 … 出願要件確認のため提出は求めるが、評価対象としない。
志望理由書・学習計画書 … 提出を求め、評価対象とする。
(いずれも面接試験の参考資料とすることがある)

総合型選抜は、公募制自己推薦的な入試区分であり、一般選抜と比較してより「行動力」や「意欲」を重視した選抜であることから、新型コロナウイルス感染症流行の影響下にあっても志望理由書等を評価することを予定していた学部では、「志望理由書・学習計画書」の提出を求め、これを評価対象とします。

入学志願者本人の記載した「志望理由書・学習計画書」では、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、主に成果獲得に向けた志願者の努力のプロセスや本学で学ぼうとする姿勢等の観点から評価を行います。

「調査書」については、一般選抜と同様の理由から提出は求めますが評価対象としないこととします。また、面接試験の際に参考資料として活用することがあります。

1-3. 試験日程変更

一般選抜及び私費外国人留学生入試の出願期間を、1月24日～2月4日に変更します。

また、入学手続について、一般選抜（後期日程）は3月26日まで、総合型選抜及び社会人入試は2月21日までとします。

1-4. 一般選抜の試験期日の配慮

新型コロナウイルス感染症に罹患し入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の場合や、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者（※）として自宅待機している者、試験当日に発熱・咳等の症状があり受験を取り止めた者のために、一般選抜（前期日程・後期日程）において、下記の日程で追試験を実施します。

追試験日：3月22日（試験会場は弘前地区のみ。本試験と同じ選抜方法で実施。）

※「濃厚接触者」とは、保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者です。

1-5. 総合型選抜の選抜方法変更

医学部医学科の総合型選抜Ⅱにおいて、ワークショップを実施しないこととします。これにより、配点合計が変更となります。

2. 学外試験場

受験者の利便性を考慮し、一般選抜（前期日程）において、下記のとおり学外試験場を設けて入学試験を実施します。

（新規）仙台地区試験場

※八戸地区試験場を仙台地区試験場に変更して実施します。

（継続）札幌地区試験場

3. 各学部の変更点

3-1. 理工学部

複数の学科に進学意欲を持つ志願者に広く進学機会を与えるため、一般選抜（前期日程）において全学科間（ただし、数物科学科（数学選択）を除く）で第2志望選抜を実施します。

3-2. 農学部生命科学部

一部学科の選抜毎の募集人員の内訳及び一般選抜（後期日程）の配点を変更します。

(1) 募集人員

学部学科	一般選抜	総合型選抜
農学生命科学部 食料資源学科	（前期）26→28 （後期）12→8	I 17→19
国際園芸農学科	（前期）25→27 （後期）10→8	
地域環境工学科	（前期）15→16 （後期）6→5	

(2) 配点

一般選抜（後期日程）の個別学力検査等において、小論文の配点を200点から100点に変更し、配点合計を1,300点に変更します。

■ 弘前大学における三つの方針（ポリシー）

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、国際社会や地域社会に参画していこうとする行動力
- 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け、知的・人格的に成長していこうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

■解説：入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学の入学者受入れの方針の「学力」「行動力」「意欲」といったキーワードには、入学時に学生が身に付けておくべき力と卒業時に学生が身に付けておくべき力の2つが含まれています。その理由は、大学教育を効果的に実践し、学生を主体的で能動的な知的探究者として社会に送り出していくためには、学生が入学前に身に付けて来た学力の芽を大きく育て、花開かせることが重要だと考えているからです。

学生が入学時に身に付けておくべき力とは、「学力の3要素」です。学力の3要素は、初等中等教育において身に付けるべき学力です。その内容は、①基礎的な知識・技能、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、となっています。

また、卒業時に学生が身に付けるべき力とは、弘前大学の「卒業認定・学位授与の方針」や「教育課程編成・実施の方針」で掲げている「見通す力」「解決していく力」「学び続ける力」です。詳細は本学ホームページの該当部分を読んでみてください。

「学力」「行動力」「意欲」には、弘前大学の教育目的が内包されているため、「学力」「行動力」「意欲」は「学力の3要素」と完全一致しているわけではありません。ただし、教育理念の点で、両者は一致しています。よって、弘前大学の入学者選抜では、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

実際の入試の内容や方法は、学部や学科、あるいは入試形態によって異なります。詳細は各学部の入学者受入れの方針、入学者選抜要項・募集要項を確認してください。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

弘前大学は、学生の主体的・能動的な知的探究をとおして、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

(1) 教養教育：教養教育は学生の探究の第一歩です。

－見通す力

学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促します。これにより、国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。

－解決していく力

学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

(2) 専門教育：専門教育は、学生の探究の集大成です。

－見通す力

学生に専門知識を体系的に教授することで、自然や社会への洞察を深化させます。

－解決していく力

学生に、専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も、実践をとおして培います。

(3) 学士課程教育の再構築：学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。

－学び続ける力

卒業後、学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立します。

3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

弘前大学は、変化が激しく、将来予測が困難な時代にあってこそ力を発揮できる主体的・能動的な探究者を育み、高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身に付けた者に対して学位を授与します。

- － 学際的な教養と高度な専門性を身に付け、学術的観点から自然や社会を見通す力
- － 学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力
- － 常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

*カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの解説は、ホームページでご覧いただけます。

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/policy/policy.html>

1 募集人員

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員									
				一般選抜		総合型選抜(※1)		社会人入試	私費外国人留学生入試				
				前期日程	後期日程	I	II						
人文社会科学部	文化創生課程		110	60	15	35	/	/	若干名				
	社会経営課程		155	国55 数35	(※2) 20	(※3) 45			若干名				
	計		265	150	35	80							
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校コース	80	34	20	/	/	/	若干名				
		中学校コース	国語専修	50	7				/	/	/	若干名	
			社会専修		7							若干名	
			数学専修		7							若干名	
			理科専修		7							若干名	
			音楽専修		/							3	若干名
			美術専修									3	若干名
			保健体育専修									5	若干名
			技術専修		3							若干名	
			家庭科専修		3							若干名	
		英語専修	5	若干名									
	特別支援教育専攻	10	5	5	若干名								
養護教諭養成課程	20	14	6	若干名									
計		160	92	20	11	37							
医学部	医学科		(※8) 85 【予定】	青森県定着枠 8 【予定】	/	/	/	/	若干名				
	保健学科	看護学専攻	80	50					30	若干名	若干名		
		放射線技術科学専攻	40	24					16	若干名	若干名		
		検査技術科学専攻	40	24					16	若干名	若干名		
		理学療法学専攻	20	12					8	若干名	若干名		
		作業療法学専攻	20	12					8	若干名	若干名		
		小計	200	122					78				
	心理支援科学科	10	10							若干名			
計		295	175		120								
理工学部	数物科学科		78	数19 数理19	数6 理10	(※4) 24	/	/	若干名				
	物質創成化学科		52	26	10	16			若干名				
	地球環境防災学科		65	30	15	20			若干名				
	電子情報工学科		55	29	9	(※5) 17			若干名				
	機械科学科		80	36	20	(※6) 24			若干名				
	自然エネルギー学科		30	9	12	9			若干名				
計		360	168	82	110								
農学生命科学部	生物学科		40	23	5	/	/	/	若干名				
	分子生命科学科		40	20	8				12	若干名			
	食料資源学科		55	28	8				19	若干名			
	国際園芸農学科		50	27	8				(※7) 15	若干名			
	地域環境工学科		30	16	5				9	若干名			
計		215	114	34	43	24							
合計			1,295	699	171	244	181						

- (※1) 「総合型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないものであり、「総合型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものです。
(※2) 人文社会科学部「一般選抜(前期日程)」の「国」は個別学力検査における国語選択者、「数」は数学選択者の募集人員です。
(※3) 人文社会科学部社会経営課程「総合型選抜Ⅰ」の募集人員45人には、専門高校枠(商業に関する高等学校、商業又は情報処理に関する学科、総合学科(商業又は情報の単位を20単位以上修得した者))8人を含みます。
(※4) 理工学部「一般選抜」の「数」は個別学力検査における数学選択者、「数理」は数学及び理科選択者、「理」は理科選択者の募集人員です。
(※5) 理工学部電子情報工学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員17人には、専門高校枠(高等学校等の工業又は商業に関する学科(高等専門学校の学科を含む)及び総合学科)4人を含みます。
(※6) 理工学部機械科学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員24人には、専門高校枠(高等学校等の工業に関する学科(高等専門学校の学科を含む))2人を含みます。
(※7) 農学生命科学部国際園芸農学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員15人には、専門高校枠(高等学校等(高等専門学校を含む)の農業、林業、水産、工業、商業、情報に関する学科)4人を含みます。
(※8) 医学部医学科の募集人員は予定であり、変更する場合があります。

(注) 総合型選抜の合格者が募集人員に満たない場合の欠員は、「一般選抜(前期日程)」の募集人員に加えます。

2 試験日程

実施学部等		日程	インターネット出願登録 及び入学検定料払込期間	出願書類 受付期間	試験実施日	合格者発表日	入学手続期限
総合型選抜Ⅰ	人文社会科学部 (文化創生課程)	9月21日(火) ～9月30日(木)	9月24日(金) ～9月30日(木)		10月30日(土)	11月18日(木)	2月21日(月) まで
	人文社会科学部 (社会経営課程)				10月31日(日)		
	教育学部 (音楽専修, 美術専修)				10月30日(土)		
	教育学部 (保健体育専修)				10月30日(土) 及び31日(日)		
	理工学部				10月30日(土)		
	農学生命科学部 (食料資源学科, 国際園芸農学科, 地域環境工学科)				10月31日(日)		
総合型選抜Ⅱ	教育学部 (小学校コース, 特別支援教育専攻, 養護教諭養成課程)				10月30日(土) 及び31日(日)	2月9日(水)	
	医学部 医学科						
	医学部 保健学科						
	農学生命科学部 (生物学科, 分子生命科学科)				10月31日(日)		

3 選抜方法一覽

総合型選抜Ⅰは、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除して、下記の選抜方法により選抜を行います。

総合型選抜Ⅱは、大学入学共通テストを課し、個別学力検査は免除して、下記の選抜方法により選抜を行います。

学 部	学科・課程等	総合型選抜Ⅰ						総合型選抜Ⅱ							
		小 論 文	講 義 及 び ポ ジ ト	面 接 (※3)	実 技	出願書類			小 論 文	面 接	集 団 討 論	ケ ー ス 自 学 自 習 ス タ デ イ	ワ ー ク シ ョ ッ プ (※4)	出願書類	
						調 査 書 (※1)	学 習 計 画 書 又 は 志 望 理 由 書 (※2)	志 望 理 由 書 (※2)						調 査 書 (※1)	志 望 理 由 書 (※2)
人文社会 科学部	文化創生課程	●	×	●	×	◎	●								
	社会経営課程	●	×	●	×	◎	●								
教育学部	学校教育 部 初等 中 学 校 教 育 教 員 養 成 専 攻 課 程	小学校コース							●	●	●	×	×	◎	●
		国語専修													
		社会専修													
		数学専修													
		理科専修													
		音楽専修							×	×	●	●	◎	×	
		美術専修							×	×	●	●	◎	×	
		保健体育専修							×	×	●	●	◎	×	
		技術専修													
		家庭科専修													
	英語専修														
特別支援教育専攻							×	●	●	×	×	◎	●		
養護教諭養成課程							×	●	●	×	×	◎	●		
医学部	保健 学 科	医 学 科							×	●	×	●	×	◎	◎
		看護学専攻							●	●	×	×	×	◎	●
		放射線技術科学専攻							●	●	×	×	×	◎	●
		検査技術科学専攻							●	●	×	×	×	◎	●
		理学療法学専攻							●	●	×	×	×	◎	●
	作業療法学専攻	●	●	×	×	×	◎	●							
心理支援科学科															
理工学部		数物科学科	×	●	●	×	◎	●							
		物質創成化学科	×	●	●	×	◎	●							
		地球環境防災学科	×	●	●	×	◎	●							
		電子情報工学科	×	●	●	×	◎	●							
		機械科学科	×	●	●	×	◎	●							
		自然エネルギー学科	×	●	●	×	◎	●							
農学生命 科学部		生 物 学 科							×	●	×	×	×	◎	●
		分子生命科学科							×	●	×	×	×	◎	●
		食料資源学科							●	×	●	×	◎	●	
		国際園芸農学科							●	×	●	×	◎	●	
		地域環境工学科							●	×	●	×	◎	●	

- (※1) ◎を付した学部等では、調査書を面接の参考資料とすることがあります。
- (※2) ●人文社会科学部では、学習計画書を点数評価し、面接の参考資料とします。
◎を付した学部等（人文社会科学部以外）では、志望理由書を段階評価し、面接の参考資料とすることがあります。
○医学部医学科では、志望理由書を面接の参考資料とします。
- (※3) 教育学部（保健体育専修）では、スポーツ競技歴が分かる資料を面接の参考資料とします。
- (※4) ワークショップは令和4年度選抜では実施しません。

4 試験時間割等

1. 総合型選抜 I

人文社会科学部

学科・課程等	試験実施日	試験科目	時 間	試 験 場
文化創生課程	10月30日（土）	小論文	9：00～10：30	弘前大学 総合教育棟
		個人面接	11：30～17：00（※）	
社会経営課程	10月31日（日）	小論文	9：00～10：30	
		個人面接	11：30～17：00（※）	

教育学部

学科・課程等	試験実施日	試験科目	時 間	試 験 場
学校 初等 中等 教育 教員 養成 課程 中学校 コース 中等 教育 専攻 課程	10月30日（土）	実技	9：00～12：00（※）	弘前大学 教育学部
		個人面接	13：00～17：00（※）	
	10月30日（土）	個人面接	9：00～17：00（※）	
		10月31日（日）	実技	

理工学部

学科・課程等	試験実施日	試験科目	時 間	試 験 場
数物科学科 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科	10月30日（土）	講義の実施と その内容に関する レポート	9：00～11：00（※）	弘前大学 理工学部
		個人面接	12：00～17：00（※）	

農学生命科学部

学科・課程等	試験実施日	試験科目	時 間	試 験 場
食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科	10月31日（日）	小論文	9：00～10：30	弘前大学 総合教育棟
		個人面接	12：00～17：00（※）	

（※）試験終了時間については、受験者数等によって変更することがあります。

2. 総合型選抜Ⅱ

教育学部

学科・課程等		試験実施日	試験科目	時間	試験場
学校養 成課 教育課程 教育課程	初等中等 教育専攻 小学校 コース	10月30日（土）	小論文	9：00～10：30	弘前大学 教育学部
			集団討論	12：00～17：00（※）	
		10月31日（日）	個人面接	9：00～17：00（※）	
	特別支援教育専攻	10月30日（土）	個人面接	9：00～17：00（※）	
		10月31日（日）	集団討論	9：00～17：00（※）	
	養護教諭養成課程	10月30日（土）	個人面接	9：00～17：00（※）	
10月31日（日）		集団討論	9：00～17：00（※）		

医学部

学科・課程等	試験実施日	試験科目	時間	試験場
医学科	10月30日（土）	ケーススタディ の自学自習	13：00～16：00（※）	弘前大学 医学部医学科
	10月31日（日）	個人面接	9：00～17：00（※）	
保健学科	10月30日（土）	個人面接	9：00～17：00（※）	弘前大学 医学部保健学科
	10月31日（日）	小論文	9：00～10：00	

農学生命科学部

学科・課程等	試験実施日	試験科目	時間	試験場
生物学科 分子生命科学科	10月31日（日）	個人面接	12：00～17：00（※）	弘前大学 総合教育棟

（※）試験終了時間については、受験者数等によって変更することがあります。

5 入学試験の実施方法等

総合型選抜Ⅰは、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除して選抜を行います。本学が実施する小論文試験等を全て受験していない場合には、合格者とはなりません。

総合型選抜Ⅱは、大学入学共通テストを課し、個別学力検査は免除して選抜を行います。本学が指定した大学入学共通テストの教科・科目及び本学が実施する小論文試験等を全て受験していない場合には、合格者とはなりません。

いずれの選抜においても、成績が著しく低い場合は、募集人員にかかわらず不合格となることがあります。なお、合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

【専門高校枠について】

人文社会科学部、理工学部及び農学生命科学部の「専門高校枠」は、要件を満たしたうえで出願時に希望した者のみを対象とします。なお、「専門高校枠」の要件は21ページ以降で確認してください。

総合型選抜はインターネットを利用した出願となります。

インターネット出願サイトから登録を行い、入学検定料を払い込んだうえで、出願に必要な書類を出願期間内に本学に届くよう送付する必要があります。

1. インターネット出願登録及び検定料等払込み期間

令和3年9月21日（火）～9月30日（木）午後4時30分

※インターネット出願の流れ（登録方法等）は16ページ～に記載しています。

※検定料免除を申請する場合は、出願時に入学検定料を払い込まないでください。検定料免除については14ページを参照してください。

※インターネット出願登録、検定料の払込みだけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。

※ご自宅にインターネットや印刷の環境がない場合は、学校に相談してパソコン等を利用したり、公共図書館のインターネットサービスを利用する等により対応してください。

※インターネット出願の環境設定等について

パソコン等は下記の環境を推奨します。

〈スマートフォン、タブレットの OS〉

〈ブラウザ〉

• iOS 10.2 以降

• Microsoft Internet Explorer 11 以降

• Android 4.4 以降

• Microsoft Edge 最新版

• Google Chrome 最新版

• Mozilla Firefox 最新版

• Apple Safari 8 以降

プリンター

写真データ等を印刷する必要がありますので、カラープリンターでの印刷を推奨します。

メールアドレス設定

- パソコンでも使用できるメールアドレスを推奨しています。
- 下記のドメインからのメールを受信できるようにしてください。
@e-apply.jp
- 出願時に登録したアドレスには、登録時のテスト、入力完了、検定料払込み完了の際に自動送信メールが送信されます。また、出願に関するお知らせのメールを送付することがあります。

2. 出願書類受付期間及び提出先

令和3年9月24日（金）～9月30日（木）午後5時必着

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合には、出願期間中の平日午前9時から午後5時までに持参してください。

出願書類受付期間後に到着したものは受理しません。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。ただし、9月28日（火）以前の発信局の消印がある書留・速達郵便に限り受付します。

志願学部等	提出先
人文社会科学部 教育学部 理工学部 農学生命科学部	〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部入試課 電 話 0172 (39) 3122
医学部医学科	〒036-8562 青森県弘前市在府町5番地 弘前大学医学研究科学務グループ教務企画担当 電 話 0172 (39) 5206
医学部保健学科	〒036-8564 青森県弘前市本町66-1 弘前大学保健学研究科学務グループ 電 話 0172 (39) 5911

3. 出願書類等

出願に必要な書類等は、下記のとおりです。

事前に、写真データ、調査書、志望理由書及び封筒等を準備してください。

総合型選抜Ⅱの志願者は、大学入試センターから送付される「令和4共通テスト成績請求票」を提出してください（12月中旬）。

出願書類等	内容等
A. 全志願者共通（総合型選抜Ⅰ，Ⅱ）	
1. 志願票等	1-1 志願票 インターネット出願サイトから必要事項を入力し、検定料払込み完了後にA4サイズで印刷してください。
	1-2 写真データ インターネット出願サイトで登録する際に、写真データをアップロードしてください。 写真データは、カラー（10MBまで）、出願3ヶ月以内に撮影、上半身、脱帽、正面向きのものとします。本人確認に使用するため鮮明なものを使用してください。
2. 調査書	出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 (注) 調査書について 1. 既卒者については改正前の旧様式でも可とします。 2. 印刷形式について、A4サイズの様式2枚をA3用紙1枚に印刷したのもでも可とします。 3. 「備考欄（大学の希望により当該大学の学部等に対する能力・適性等について、特に高等学校長が推薦できる生徒についてはその旨記入することとされている欄）」については、本学では記載を求めません。
3. 入学検定料	インターネット出願サイト登録後に表示される支払い手続き画面に従って、入学検定料を払い込んでください。 ■入学検定料： 17,000 円 ※振込手数料は志願者負担となります。
4. 封筒 (出願書類提出用)	角形2号（240mm×332mm）の封筒を各自用意してください。インターネット出願サイトから印刷した「宛名シート」を貼付し、必要書類を封入して郵送してください。
B. 人文社会科学部 志願者	
1. 学習計画書	インターネット出願サイトトップページから様式（PDF版）をダウンロードし、A4サイズで両面印刷のうえ、志願者本人の自書により記載したものを提出してください。
2. 検定試験関係書類 (社会経営課程の 専門高校枠で出 願する者のみ)	次のいずれかの検定試験の等級を証明する書類のコピーを提出してください。 ・日本商工会議所主催簿記検定試験2級 ・公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験1級 ・独立行政法人情報処理推進機構主催基本情報技術者試験 ・公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験1級
C. 教育学部（保健体育専修）志願者	
スポーツ競技歴が分かる資料 (学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻中学校 コース保健体育専修 の該当者のみ提出)	学校教育教員養成課程初等中等教育専攻中学校コース保健体育専修では、スポーツ競技歴が分かる資料を面接の参考資料とします。 校内外における体育的活動ならびにスポーツ活動について、競技成績を証明する資料がある場合、各々コピーして提出してください。 なお、令和2～3年度の活動については、練習などの活動をまとめた文書を提出しても構いません。（様式自由） ※A4サイズ（片面）5枚以内で提出してください。 ※全ての資料の裏面に氏名を記載してください。 ※面接の参考資料とするものであり、評価対象ではありませんので、提出できる資料がない場合は不要です。

D. 教育学部（音楽・美術・保健体育専修を除く）志願者	
志望理由書	<p>インターネット出願サイトトップページから様式（Microsoft Word版又はPDF版）をダウンロードし、指定された枠内に志望理由と活動実績を自由な形式で記載したものを提出してください。</p> <p>※パソコン等で直接入力したものでも、自書により記載したものでも構いません。</p> <p>※A4サイズ（片面）1枚で提出してください。</p> <p>※写真や紙等を貼り付けて作成する場合は、貼り付けた様式をコピーしたものを原本として提出してください。</p>
E. 医学部医学科，医学部保健学科 志願者	
志望理由書	<p>インターネット出願サイトトップページから様式（PDF版）をダウンロードし、A4サイズで印刷のうえ、志願者本人の自書により記載したものを提出してください。</p>
F. 医学部医学科 志願者のみ	
確約書	<p>インターネット出願サイトトップページから様式（PDF版）をダウンロードし、A4サイズで印刷のうえ、志願者及び連帯保証人（身元引受人）本人が該当欄に自署したものを提出してください。</p>
G. 理工学部，農学生命科学部（総合型選抜Ⅰ，Ⅱ共通）志願者	
志望理由書	<p>インターネット出願サイトトップページから様式（Microsoft Excel版）をダウンロードし、直接入力したものをA4サイズで印刷のうえ、提出してください。（自書不可）</p>
H. 総合型選抜Ⅱ 受験者	
令和4共通テスト成績請求票	<p>本学の入学試験実施後に、大学入試センターから送付される「令和4年度大学入学共通テスト受験票」下部の「令和4共通テスト成績請求票国公立総合型選抜用」を簡易書留で郵送してください。</p> <p>送付期限：令和3年12月17日（金）</p> <p>送付先：出願書類等の提出先と同様（11ページ参照）</p> <p>※貼付台紙は受験票とともにダウンロードできます。</p> <p>※封筒表面に「共通テスト成績請求票在中」と記入し、封筒裏面に本学の受験番号、住所及び氏名を記入してください。</p>

注）証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出してください。

4. 出願上の注意事項

- (1) インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学検定料を期限までに払い込み、出願に必要な書類を提出期間内に本学に届くよう送付する必要があります。
- (2) 出願書類の不足や、記載事項の記入漏れ等、不備のあるものは受理しません。
- (3) インターネット出願手続完了後の入試区分・学部・学科等の変更は認めません。
- (4) 提出後の出願書類の内容変更等は認めません。ただし、住所等の連絡先が変更となった場合は、速やかに連絡してください。
- (5) 提出受理後の出願書類は、いかなる理由があっても返却いたしません。
- (6) 提出した出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

5. 入学検定料等の返還について

払込み済みの入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ①入学検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合
- ②入学検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合
- ③誤って入学検定料を二重に払い込んだ場合

上記のいずれかに該当する場合は、払込み名義人本人からの申し出（本学の定める様式による）に基づき、口座振込みにより返還しますので、速やかに入試課までお問い合わせください。

6. 入学検定料の免除について

弘前大学では、自然災害による被災者の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、令和3年度に実施する入学者選抜試験について、以下のとおり入学検定料を免除する措置を講じます。

(免除対象となる入学者選抜試験)

令和3年度に実施する学部入試（編入学入試を除く）及び大学院入試（科目等履修生、研究生及び聴講生は対象外）

(対象者)

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、東日本大震災（平成23年3月11日発生）及び令和3年度に災害救助法が適用された地域で被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 学資負担者が居住していた家屋（持家に限る）が、全壊、大規模半壊、半壊、流失と認定された方
東日本大震災においては、岩手県、宮城県及び福島県の全市町村並びに青森県、茨城県、栃木県及び千葉県の災害救助法適用市町村に居住していた方
- (2) 学資負担者が災害により死亡または行方不明となった方
- (3) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難地域、居住制限区域または避難指示解除準備区域に指定された方

注）令和3年度災害救助法の適用を受けない地域であっても、罹災証明書等の提出により対象となる場合がありますので、学務部入試課へお問い合わせください。

(申請の方法)

事前に学務部入試課へ電話等で問い合わせの上、所定の申請書に証明書類を添えて、出願書類とともに提出してください。この場合は、出願時に入学検定料を払い込まないでください。

詳細については、弘前大学入試情報ホームページでご確認ください。

7. 障害等のある入学志願者の事前相談について

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上特別の配慮を必要とする方は、令和3年8月27日（金）までに、あらかじめ本学に申し出たうえで「弘前大学入学者選抜試験に係る事前相談申請書」（所定様式）を提出してください。

なお、相談内容によっては、事前の準備等に時間を要する場合がありますので、できるだけ早めにご相談ください。

○連絡先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

弘前大学学務部入試課

電 話 0172 (39) 3122

○様式ダウンロード先

本学入試情報ホームページ (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>)

8. インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、写真データなど
※出願方法の詳細は、「募集要項（10ページ～）」参照

STEP 2 出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/e/hirosaki-u/>
または、
大学ホームページ ▶ <https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>
からアクセス

STEP 3 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

「出願内容の確認/志願票・受験票の印刷」ボタンより、受付番号(*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、志願票の出力ができます。

- ① 試験区分、志望学部・学科等
- ② 写真データのアップロード
- ③ 個人情報(氏名・住所等)
- ④ 申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。出願情報を確認する場合と、出願書類を出力する際に必要になります。
- ⑤ 検定料支払方法の選択
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合		ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合	
払込票番号	番号メモ(13桁)	お客様番号	メモ(11桁)
		確認番号	メモ(6桁)
デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合		収納機関番号	58021 ※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。
オンライン決済	番号メモ(11桁)		

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

! 申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。
ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。
※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

4

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

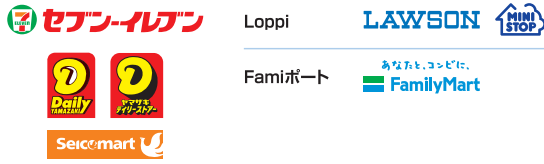
※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

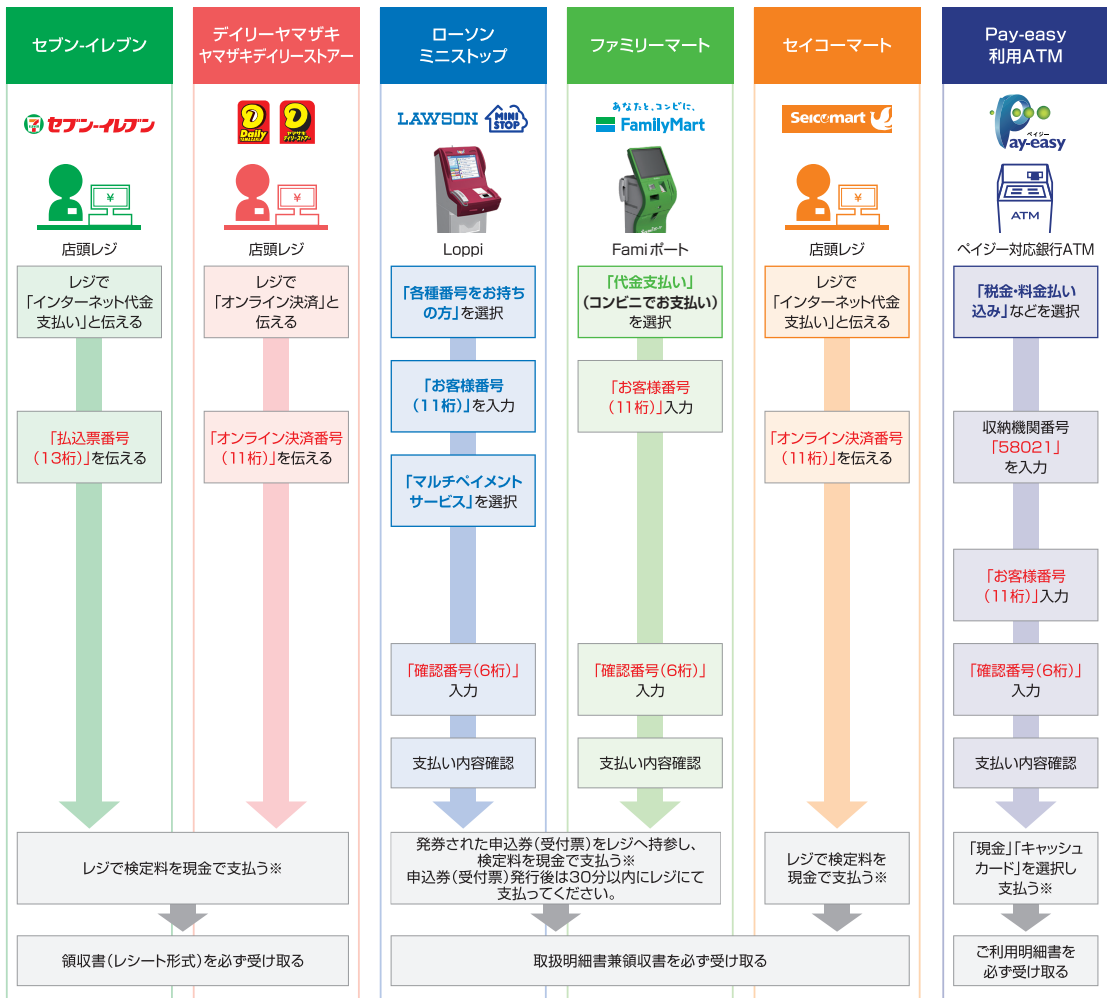


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM



※振込手数料は志願者負担となります。クレジットカード900円、クレジットカード以外は650円です。
 ※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストア利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

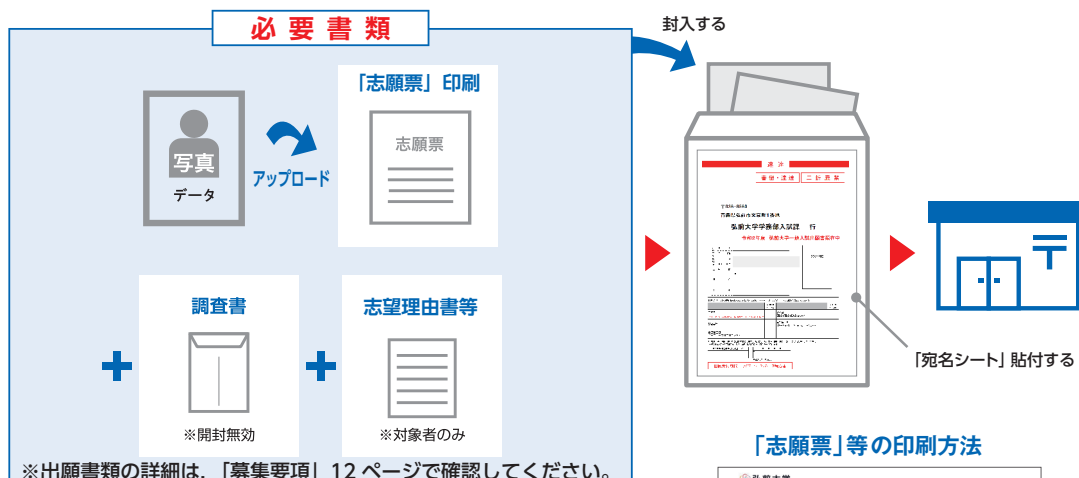
STEP

5

出願書類の郵送

登録だけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

入学検定料の支払完了後、インターネット出願サイトから「志願票」と「宛名シート」を印刷し、その他の必要書類と併せて郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。

出願書類
受付期間

令和3年9月24日(金)～9月30日(木)
最終日 17:00 (郵送必着)

(インターネット出願登録期間)

令和3年9月21日(火)00:00～9月30日(木)16:30

送付先 志願学部等によって異なりますが、宛名シートには出願学部に応じた送付先が印字されます。

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

STEP 5 の出願書類の郵送で出願完了となりますが、**期限までに書類が届かなければ出願を受理できませんのでご注意ください。**

インターネット出願は 24 時間可能ですが、出願書類の提出期限に間に合うよう、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

6

受験票の印刷

- ・「受験票」及び「受験上の注意」は、インターネット出願サイトから各自A4用紙に印刷してください。 **※郵送はいたしません。**
- ・印刷は、**10月19日(火)(予定)**から可能になります。
- ・「受験上の注意」は、熟読してください。

※試験当日は、印刷した「受験票」を忘れずに持参してください。



- インターネット出願では、インターネット出願サイトでの出願登録、検定料の支払いだけでは、出願は完了しません。出願に必要な書類が出願期間内に本学へ到着して、出願が完了します。
- ご家庭にインターネット利用や印刷の環境がない場合は、学校に相談してパソコン等を利用したり、公共図書館のインターネットサービスを利用する等の対応により、出願してください。

9. 受験票の印刷

受験票は、10月19日（火）（予定）からインターネット出願サイトより印刷できるようになります。インターネット出願サイトにログインして印刷し、試験当日に持参してください。

また、試験当日の注意事項等を記した「受験上の注意」も同時に印刷して、内容を熟読してください。

なお、**受験票は本学からは発送しませんので、必ず各自で印刷してください。**

〔受験票に関する注意事項〕

1. 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、入試課へ10月22日（金）までに連絡してください。
2. 10月22日（金）になっても、受験票が印刷できない場合は、至急入試課へ連絡してください。
3. インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は、受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。
4. 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参してください。

10. 入学試験における感染症対応について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘、新型コロナウイルス等）に罹患し入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の場合や、試験当日、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者（※）として自宅待機となっている場合、海外から入国後の待機期間中の場合、受験できません。また、継続して発熱・咳等の症状がある、又は発熱・咳等の症状があり試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合も、他の受験者や監督者等の安全確保のため、受験を取り止めてください。いずれの場合も、入学検定料の返還は行いません。

受験者は、下記事項に留意して試験に臨んでください。

(1) 試験前

- ①日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。
- ②試験日の2週間程度前から、発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関を受診してください。
- ③日頃から、「三つの密」の回避、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生等により各自感染防止に努め、体調管理には十分注意してください。
- ④新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の活用が望まれます。

(2) 試験当日

- ⑤試験当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合は受験を取り止めてください。
- ⑥試験当日、体調が優れない場合は、その旨を試験場の入場受付担当者や試験監督者に申し出てください。
- ⑦試験場内では、窓を開けて換気を行うことがありますので、暖かい衣服を持参するなど防寒対策を行ってください。
- ⑧試験場内では、必ずマスクを着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）し、昼食時及び試験関係者からの指示があった場合以外は常に着用してください。何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、事前に本学入試課へ連絡してください。
- ⑨試験室への入退室を行うごとに手指消毒を行ってください。
- ⑩試験場内の移動や休憩時間、昼食時において、他者との接触、会話を極力控えてください。他者との距離を保って行動し、休憩時間等においても、自席以外に座らないでください。
- ⑪受験者控室は設けません。入場開始時刻から着席時刻に合わせて試験場に来てください。

- ⑫保護者等の控室も設けません。障害等の理由がある場合を除き、保護者の方の付き添いは控えてください。
- ⑬昼食が必要な場合は持参し、本学が指定する時間に試験室内の自席でとってください。
- ⑭ごみは各自持ち帰ってください。特に、使用したマスクは試験場内で廃棄しないでください。

(3) その他

- ⑮今後、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、募集要項の公表後や出願期間後であっても、やむを得ず、試験期日や選抜方法の変更等の緊急措置を実施する場合があります。
 - ⑯上記の緊急措置を実施する場合は、本学ホームページ等でお知らせしますのでご留意願います。
- ※「濃厚接触者」とは、保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者。

6 選抜方法等

1. 総合型選抜 I

【大学入学共通テストの受験について】

総合型選抜 I では、大学入学共通テストは課していませんが、大学入学までの勉学意欲継続という趣旨に鑑み、合格者は大学入学共通テストを必ず受験してください。

なお、大学入学共通テストの成績が合否に影響することはありません。

■大学入学共通テストの出題教科・科目

国語	国語を1		
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1又は2	5又は6
公民	現社, 倫, 政経, 倫政経	1又は2	
数学①	数学I, 数学I・数学A	1又は2	
数学②	数学II, 数学II・B, 簿記・会計, 情報関係基礎	1又は2	
理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学	1から3	
外国語	英語(リスニング含む)を1		

【5教科7科目又は6教科8科目】

注1) 大学入学共通テストを受験するためには、事前の出願手続が必要です。また、入学後に大学入学共通テストの成績通知書を提出していただきますので、必ず出願時に成績通知を希望してください。

注2) 大学入学共通テストの検定料及び成績通知手数料は本人負担となります。

注3) 「理科」については、以下のA～Dのいずれかのパターンから選択してください。

A	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目選択
B	物理, 化学, 生物, 地学から1科目選択
C	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目選択及び物理, 化学, 生物, 地学から1科目選択(同一名称を含む科目同士の選択も認める)
D	物理, 化学, 生物, 地学から2科目選択

注4) 「地歴」, 「公民」, 「数学」, 「理科」の選択においては、科目数不足とならないよう注意してください。

(例) 「地歴」, 「公民」か「数学」のどちらかが1科目の場合は、「理科」はC又はDパターンでの受験が必要です。

注5) 「英語」については、リスニングも受験してください。ただし、リスニングを免除された者は除きます。

1-1 人文社会科学部（総合型選抜Ⅰ）									
出 願 要 件	<p>次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月以降に卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者 2. 人物、学力ともに優れ、高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の者 <p>【専門高校枠について】 社会経営課程の募集人員45人には、専門高校枠8人を含みます。 前述の要件に加え、以下の要件を満たし、出願時に希望した者を専門高校枠出願者として扱います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業に関する高等学校、商業又は情報処理に関する学科、総合学科（商業又は情報の単位を20単位以上修得した者）を卒業した者又は卒業見込みの者。 ・専門高校枠で出願する場合は、次の検定試験のいずれかに合格していること。 <ul style="list-style-type: none"> ○日本商工会議所主催簿記検定試験2級 ○公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験1級 ○独立行政法人情報処理推進機構主催基本情報技術者試験 ○公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験1級 <p>※専門高校枠を希望する場合は、インターネット出願サイトから出願内容を登録する際に「専門高校枠を希望する」を選択する必要があります。選択しない場合は、上記に該当していても専門高校枠出願者として扱いません。</p>								
選 抜 方 法	<p>個人面接（プレゼンテーション含む）、小論文及び学習計画書の採点結果を総合して行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 面接の方法 個人面接方式（受験者は自己PR、志望理由と入学後の学習計画、大学卒業後の進路等について5分以内で口頭発表し、それに基づいて複数の教員により質疑応答を行う） 1人当たり20分程度とする。（口頭発表を含む） 学習計画書やその他の資料等を見ながら、面接を受けることはできない。 出願の際に提出された調査書及び学習計画書を面接の参考資料として使用する。 2. 小論文の出題形式 一つのテーマについて論述させる。（制限字数800字） 3. 学習計画書 志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を元に記述させる。 <ol style="list-style-type: none"> (1) これまでに熱心に取り組んだこと（勉学、課外活動など）を含めた自己PR（400字以内） (2) 当該課程への志望理由と入学後の学習計画（600字以内） (3) 大学卒業後の進路希望（200字以内） 								
配点, 評価方法, 合否判定基準	<p>【配点】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>個人面接</th> <th>小論文</th> <th>学習計画書</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">500</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価方法】 （個人面接） アドミッション・ポリシーを念頭に、志望課程への関心と意欲、大学での学習計画と将来への見通し、コミュニケーション能力等を客観的に評価し、複数の教員により点数化する。</p>	個人面接	小論文	学習計画書	合計	200	200	100	500
個人面接	小論文	学習計画書	合計						
200	200	100	500						

<p>配点, 評価方法, 合否判定基準</p>	<p>(小論文) 課題について自分の考えを的確に述べていること, 論旨が明確であること, 日本語の文章として適切であること等を総合的に評価し, 点数化する。</p> <p>(学習計画書) アドミッション・ポリシーを理解し自己PRができているか, 志望理由が明確で学習計画は的確に立てられているか, 将来の進路希望は明確か等を判断基準として, 「学力」, 「行動力」, 「意欲」を評価し, 点数化する。</p> <p>※調査書は令和4年度選抜では評価対象としない。</p> <p>【合否判定基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人面接, 小論文及び学習計画書の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点と同点の場合は, 個人面接, 小論文の順序で得点の高い者を上位とする。 <p>注)「専門高校枠」について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「専門高校枠」受験者から, 総得点順に「専門高校枠」合格者を決定する。 (2) (1)の結果, 「専門高校枠」で不合格となった者と, 当該課程の「専門高校枠」以外の受験者を合わせて総得点順に合格者を決定する。
---------------------------------	---

<p>1-2 教育学部 (総合型選抜I)</p> <p>学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 音楽専修 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 美術専修 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 保健体育専修</p>	
<p>出 願 要 件</p>	<p>次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 弘前大学教育学部での勉学を強く希望する者 2. 本専攻のアドミッション・ポリシーを十分理解し、本専攻への志望動機が明確である者 3. 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月以降に卒業した者及び令和4年3月に卒業見込みの者
<p>選 抜 方 法</p>	<p>○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 音楽専修</p> <p>実技及び個人面接の評価を総合して選抜を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実技 「共通課題」及び「選択課題」として課題A又はBを選択する。 演奏終了後に、演奏楽曲に関する知識について口頭試問を行う。 複数の教員により評価する。 <p>「共通課題」 当日、以下の課題を、歌唱、演奏する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コールユーブンゲン第1巻全曲から当日指定された曲を歌うこと。 ②ピアノ：「音階」同一調号による長調と短調。ただし、速度は、♩=80以上とする。 Hanon No.39のなかから当日指定。(暗譜) <p>「選択課題」 次の課題A又はBのどちらかを選択し、当日演奏する。</p> <p>課題A</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン作曲の任意のピアノソナタの第1楽章、あるいは最終楽章を暗譜で演奏すること。ただし、緩徐楽章は除く。(場合により途中で止めることがある) ②コンコーネ50番(中声用)の12番、24番、25番、28番、42番、45番より1曲を当日指定、母音で歌うこと。 <p>課題B</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ツェルニー 100番練習曲集、ツェルニー 30番練習曲集、ツェルニー 40番練習曲集の中から、任意の1曲を演奏すること。(暗譜での演奏でなくとも構わない) ②声楽又は楽器(ピアノを除く)のいずれかを暗譜で演奏すること。曲目は自由、演奏時間は原則として10分以内とする。(場合により途中で止めることがある) <p>演奏曲目の総譜を当日持参し、試験担当者に提示すること。楽器を演奏する場合は、各自楽器を持参すること。なお、共演者を必要とする場合は、受験者側で用意し、必ず当日同伴すること。また、事前にその旨を入試課に連絡すること。</p>

選 抜 方 法

2. 個人面接 複数の教員により受験者1人ずつの面接を行う。
1人当たり10分程度
出願の際に提出された調査書を面接の参考資料として使用する。

※ なお、試験の実施にあたっては、以下の感染対策をもとに実施する。

- 実技等の試験中、受験者は原則マスクを着用することとする。ただし、歌唱、吹奏楽器の演奏など、演奏が困難になる場合はその限りではない。
- 受験者と評価する教員は、5m以上の距離を取り、パーティションによる飛沫感染の防止を図る。
- 実技試験では、換気設備を常時運転し、感染対策を十分にとることのできる広い会場で実施する。
- 受験者と次の受験者の実施まで10分の間隔を取り、換気と消毒を行う。
- 評価する教員はマスクを常時着用する。

○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 美術専修

実技及び個人面接の評価を総合して選抜を行います。

1. 実技 基本的な造形能力をみる。
複数の教員により評価する。
鉛筆によるデッサン：「与えられたモチーフと自分の手」
サイズ：八つ切り画用紙
鉛筆描画用具を持参すること。試験実施時間は2時間とする。
2. 個人面接 複数の教員により受験者1人ずつの面接を行う。
1人当たり30分程度
日本及び諸外国の美術や文化に関する知識等についての口頭試問を含め、志望動機、適性等について面接を行う。
面接時に資料・作品等を披露してもよい。その場合は、1人で一度に搬入搬出できるものにする事。
出願の際に提出された調査書を面接の参考資料として使用する。

○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 保健体育専修

実技及び個人面接の評価を総合して選抜を行います。

1. 実技 高等学校保健体育実技で行われている内容と同程度の運動技能テストを次の4種目について行う。
複数の教員により評価する。

種目

- ①器械運動：マット運動、鉄棒運動等の基本技能についてテストを行う。
- ②陸上競技：走運動、跳躍運動、投てき運動の基本技能についてテストを行う。(体育館で実施)
- ③柔道：受け身、投げ技、固め技の基本技能についてテストを行う。全て受験者単独で行うものとする。
- ④バスケットボール：パス、ドリブル、シュート等の基本技能についてテストを行う。全て受験者単独で行うものとする。

持参用具

運動着、柔道着、運動靴(体育館用)、筆記用具

2. 個人面接 複数の教員により受験者1人ずつの面接を行う。
1人当たり30分程度
体育(体育理論を含む)、保健に関する知識等についての口頭試問を含め志望動機や適性等について多面的観点から面接を行う。
出願の際に提出された調査書及びスポーツ競技歴等に関する資料を面接の参考資料として使用する。

配点,
評価方法,
合否判定基準

【配点】

実技	個人面接	合計
400	200	600

【評価方法】

(実技)

基本的な能力・技術等を把握し、音楽・美術・保健体育の教員として必要な「学力」を評価する。

(個人面接)

質疑応答等をとおして、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。

美術専修及び保健体育専修においては、それぞれ美術と保健体育に関する知識を問う口頭試問も行い、「学力」も評価する。

※調査書は令和4年度選抜では評価対象としない。

【合否判定基準】

1. 実技及び個人面接の総得点順に合格者を決定する。
2. 総得点と同点の場合は、個人面接の得点の高い者を上位とする。
3. 個人面接の得点が低いと不合格になることがある。

1-3 理工学部（総合型選抜Ⅰ）	
出願要件	<p>次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月以降に卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者、又は高等専門学校3年次を令和4年3月修了見込みの者 2. 人物が優れ、志願する学科の教育・研究内容に強い興味があり、自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し、かつ十分な基礎学力を有する者 <p>注) 数物科学科では、数学講義選択者と物理学講義選択者から、同数程度の合格者を予定しています。</p> <p>【専門高校枠について】 電子情報工学科の募集人員17人には専門高校枠4人、機械科学科の募集人員24人には専門高校枠2人を含みます。 前述の要件に加え、以下の要件を満たし、出願時に希望した者を専門高校枠出願者として扱います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電子情報工学科：高等学校等の工業、商業に関する学科又は総合学科を卒業及び卒業見込みであること。なお、工業及び商業の学科には高等専門学校の学科を含む。 • 機械科学科：高等学校等の工業に関する学科（高等専門学校の学科を含む）を卒業及び卒業見込みであること。 <p>※専門高校枠を希望する場合は、インターネット出願サイトから出願内容を登録する際に「専門高校枠を希望する」を選択する必要があります。選択しない場合は、上記に該当していても専門高校枠出願者として扱いません。</p>
選抜方法	<p>レポート、個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して選抜を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義の実施とその内容に関するレポート 学科ごとに講義を行い、その内容に関するレポートを作成する。 2. 面接の方法 個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分程度とする。 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接時の参考資料にすることがある。 3. 出願書類（志望理由書） 志望理由書については、800字以内とする。
レポート試験実施方法等	<p>(数物科学科) 広い意味で数学に関係する講義、広い意味で物理学に関係する講義のいずれかを出願時に選択して受講し、選択した講義に関連して指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度、論理的思考力及び表現力の評価を目的とするものである。</p> <p>(物質創成化学科) 化学に関する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校化学についての学力を見るものではない。</p> <p>(地球環境防災学科) 広い意味で地球の環境や防災に関係する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校理科の科目についての学力を見るものではない。</p>

<p>レポート試験 実施方法等</p>	<p>(電子情報工学科) エレクトロニクスや情報技術の基礎となる数学や理科に関する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校数学や理科の科目についての学力を見るものではない。</p> <p>(機械科学科) 機械の基礎となる理科に関係する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校理科の科目についての学力を見るものではない。</p> <p>(自然エネルギー学科) エネルギーと環境問題への理解を深めることを目的とした模擬授業を行い、受講後には講義内容の理解度や思考力に関するレポート作成を行う。</p>								
<p>配点, 評価方法, 合否判定基準</p>	<p>【配点】</p> <table border="1" data-bbox="437 707 1166 806"> <thead> <tr> <th>レポート</th> <th>個人面接</th> <th>出願書類</th> <th>合計点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価方法】 (レポート) 学部において実施する講義に、能動的に対応するために必要な「学力」および「行動力」を評価し、点数化する。</p> <p>(個人面接) 基礎学力に関する試問において、学部のカリキュラムに基づく学習を進めるのに必要な「学力」を評価する。また、志望動機、入学後の履修計画、卒業後の見通しなどに関する総合的な質疑により、「意欲」および「行動力」を評価し、点数化する。</p> <p>(出願書類 (志望理由書)) 志望理由書に記載された志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から、「意欲」に関する評価を行う。 出願書類はA～Dに4段階評価し、点数化する。各段階の評価点数は、A：100点、B：80点、C：60点、D：20点とする。</p> <p>※調査書は令和4年度選抜では評価対象としない。</p> <p>【合否判定基準】 1. 出願書類 (志望理由書)、レポート (講義を実施し、その内容に関するレポートを作成) 及び個人面接 (基礎学力に関する試問を含む) の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は、レポート、個人面接の順序で得点の高い者を上位とする。</p> <p>注)「専門高校枠」について (1)「専門高校枠」受験者から、総得点順に「専門高校枠」合格者を決定する。 (2) (1)の結果、「専門高校枠」で不合格となった者と、当該学科の「専門高校枠」以外の受験者を合わせて総得点順に合格者を決定する。</p>	レポート	個人面接	出願書類	合計点	200	200	100	500
レポート	個人面接	出願書類	合計点						
200	200	100	500						

1-4 農学生命科学部（総合型選抜Ⅰ） 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科									
出願要件	<p>次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月以降に卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者、又は高等専門学校3年次を令和4年3月修了見込みの者 2. 人物が優れ、志願する学科の教育・研究内容に強い興味があり、自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し、かつ十分な基礎学力を有する者 <p>【専門高校枠について】 国際園芸農学科の募集人員15人には、専門高校枠4人を含みます。 前述の要件に加え、以下の要件を満たし、出願時に希望した者を専門高校枠出願者として扱います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校等の農業、林業、水産、工業、商業、情報に関する学科を卒業及び卒業見込みであること。 ・高等専門学校についても同様の学科を3年次修了見込みであること。 <p>※専門高校枠を希望する場合は、インターネット出願サイトから出願内容を登録する際に「専門高校枠を希望する」を選択する必要があります。選択しない場合は、上記に該当していても専門高校枠出願者として扱いません。</p>								
選抜方法	<p>小論文、個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して選抜を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小論文の出題形式 いくつかのテーマについて論述させる。（制限字数800字）90分 問題文や図表に英文が含まれることがある。 2. 個人面接の方法 複数の教員による個人面接を20分程度で行う。 具体的には、アドミッション・ポリシーに掲げた農学生命科学部及び各学科が求める学生像に適するかどうかを総合的に判断するための質問を行う。また、面接の過程で、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認するため、口頭試問を行う。 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接時の参考資料にすることがある。 3. 出願書類（志望理由書） 志望理由書は、志望理由、将来への展望、自己PRなどについて、これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に記入する。（制限字数600字） 								
配点, 評価方法, 合否判定基準	<p>【配点】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小論文</th> <th>個人面接</th> <th>出願書類</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300</td> <td>400</td> <td>50</td> <td>750</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価方法】 （小論文） 論理的思考力、読解力、記述能力などを有しているかどうかを精査することにより、「学力」を評価し、点数化する。</p> <p>（個人面接） 志望理由、興味・関心がある研究分野などについて、質疑応答を行うことにより、「行動力」、「意欲」を評価する。また、面接の過程で、口頭試問を行うことにより、「学力」を評価し、点数化する。</p>	小論文	個人面接	出願書類	合計	300	400	50	750
小論文	個人面接	出願書類	合計						
300	400	50	750						

<p>配点, 評価方法, 合否判定基準</p>	<p>(出願書類 (志望理由書))</p> <p>志望理由書においては, 本学部に対する理解や, 専門分野に対する強い興味・関心, 主体的に学び続けようとする積極性などにより, 「行動力」, 「意欲」を評価する。</p> <p>出願書類はA～Dに4段階評価し, 点数化する。各段階の評価点数は, A:50点, B:40点, C:30点, D:10点とする。</p> <p>※調査書は令和4年度選抜では評価対象としない。</p> <p>【合否判定基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小論文, 個人面接及び出願書類 (志望理由書) の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点と同点の場合は, 個人面接, 小論文の順序で得点の高い者を上位とする。 <p>注) 「専門高校枠」について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「専門高校枠」受験者から, 総得点順に「専門高校枠」合格者を決定する。 (2) (1)の結果, 「専門高校枠」で不合格となった者と, 当該学科の「専門高校枠」以外の受験者を合わせて総得点順に合格者を決定する。
---------------------------------	--

2. 総合型選抜Ⅱ

<p>2-1 教育学部 (総合型選抜Ⅱ)</p>	<p>学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 養護教諭養成課程</p>
<p>出願要件</p>	<p>次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 弘前大学教育学部での勉学を強く希望する者 2. 本課程又は専攻のアドミッション・ポリシーを十分理解し、本課程又は専攻への志望動機が明確である者 3. 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月以降に卒業した者及び令和4年3月に卒業見込みの者 4. 次のとおり令和4年度大学入学共通テストの3教科3科目又は3教科4科目を受験する者 <p>(国語) 国語 _____ から1 (地歴) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B _____ から1 (公民) 現社, 倫, 政経, 倫政経 _____ から1又は2 (数学) 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿, 情報 _____ から3又は4 (理科) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, _____ から1又は2 (外国語) 英語 を1 _____</p> <p>注1) 「国語」は100点満点に換算して利用します。 注2) 基礎を付した理科学科目は、2科目選択です。 注3) 「英語」にはリスニングを含みます。 配点については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)とし、合計点(200点満点)を100点満点に換算して利用します。リスニングの受験を免除された者は、リーディング(100点満点)をそのまま利用します。 注4) 受験を要する教科・科目数を超えて受験した場合は、得点の高い科目を採用します。ただし、「地歴」、「公民」及び「理科」については、第1解答科目の成績を優先して用います。</p>
<p>選抜方法</p>	<p>○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース</p> <p>大学入学共通テストの得点、小論文、集団討論、個人面接及び出願書類(志望理由書)の評価を総合して選抜を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小論文 広い意味での教育に関する課題について文章などの資料を与え、それについての自分の考えを論述させる。(制限字数800字) 2. 集団討論 課題図書に関するテーマについて、グループで討論を行う。討論時間は1グループ当たり30分程度とする。 以下の課題図書を試験当日までに入手し、読んでおくこと。討論のテーマを設定し、受験者同士で討論をさせる。 (課題図書) 岩波新書「アクティブ・ラーニングとは何か」 著者 渡部 淳, 発行 岩波書店, 定価800円+税, ISBN: 978-4-00-431823-1 3. 個人面接 複数の教員により受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり20分程度とする。 はじめに志望理由書の内容について、口頭でプレゼンテーションをさせる。 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。

選 抜 方 法

4. 出願書類（志望理由書）

志望理由書は、①教員になりたい理由（きっかけ）、②課外活動やボランティア活動など、学校・家庭・地域において多様な人々と積極的に関わっていく主体的な活動や、活動の実施に向けた努力のプロセスを自由な形式で記載すること。

○学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻

大学入学共通テストの得点、集団討論、個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して選抜を行います。

1. 集団討論

課題図書に基づき指示するテーマについて、グループでの討議・取りまとめ、全体での発表・討議等を行う。

集団討論は、それぞれのグループでの討議・取りまとめを概ね60分、その後、全体での発表・討議を概ね60分行う。

以下の課題図書を試験当日までに入手し、読んでおくこと。課題図書は当日持参すること。

（課題図書）

「障害者ととともに働く」

著者 藤井克徳、星川安之、発行 岩波書店、定価820円＋税、

ISBN：978-4-00-500925-1

2. 個人面接

複数の教員により志望理由、適性、意欲、関心を受験者1人ずつに問う個人面接（ロールプレイ等を含む）を行う。

1人当たり15分程度とする。

出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。

3. 出願書類（志望理由書）

志望理由書は、①教員になりたい理由（きっかけ）、②課外活動やボランティア活動など、学校・家庭・地域において多様な人々と積極的に関わっていく主体的な活動や、活動の実施に向けた努力のプロセスを自由な形式で記載すること。

○養護教諭養成課程

大学入学共通テストの得点、集団討論、個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して選抜を行います。

1. 集団討論

「心と体の健康」に関するテーマについて、グループで討論を行う。

討論時間は1グループ当たり40分程度とする。

2. 個人面接

複数の教員により志望理由、適性、意欲、関心を受験者1人ずつに問う個人面接を行う。

1人当たり15分程度とする。

出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。

3. 出願書類（志望理由書）

志望理由書は、①教員になりたい理由（きっかけ）、②課外活動やボランティア活動など、学校・家庭・地域において多様な人々と積極的に関わっていく主体的な活動や、活動の実施に向けた努力のプロセスを自由な形式で記載すること。

【配点】

○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース

大学入学共通テスト						小論文	集団討論	個人面接	出願書類	合計
国語	地歴	公民	数学	理科	外国語					
100	100	100	100	100	100	200	200	200	50	950
100			100							

○学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻，養護教諭養成課程

大学入学共通テスト						集団討論	個人面接	出願書類	合計
国語	地歴	公民	数学	理科	外国語				
100	100	100	100	100	100	200	200	50	750
100			100						

配点,
評価方法,
合否判定基準

【評価方法】

○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース

(小論文)

①内容(出題の意図を的確にとらえ,自分なりの考えを明確に主張しているか等),
②表現(文章の論理構成,適切な日本語,文字の表記,字数の過不足)により,「学力」と「意欲」を評価する。

(集団討論)

討論をとおして,①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力,②発言内容,③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価する。

(個人面接)

質疑応答等をとおして,①自己表現能力,②教職への目的意識,③教員としての適性・資質・能力,④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。

(出願書類(志望理由書))

志望理由書は,志望理由や活動実績等の内容から,①自己表現能力,②教職への目的意識,③教員としての適性・資質・能力,④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し,主に「意欲」を評価する。

出願書類はA～Dに4段階評価し,点数化する。各段階の評価点数は,A:50点,B:40点,C:30点,D:20点とする。

※調査書は令和4年度選抜では評価対象としない。

<p>配点, 評価方法, 合否判定基準</p>	<p>○学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻, 養護教諭養成課程</p> <p>(集団討論) 討論をとおして, ①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力, ②発言内容, ③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価する。</p> <p>(個人面接) 質疑応答等をとおして, ①自己表現能力, ②教職への目的意識, ③教員としての適性・資質・能力, ④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。</p> <p>(出願書類 (志望理由書)) 志望理由書は, 志望理由や活動実績等の内容から, ①自己表現能力, ②教職への目的意識, ③教員としての適性・資質・能力, ④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し, 主に「意欲」を評価する。 出願書類はA～Dに4段階評価し, 点数化する。各段階の評価点数は, A : 50点, B : 40点, C : 30点, D : 20点とする。</p> <p>※調査書は令和4年度選抜では評価対象としない。</p> <p>【合否判定基準】</p> <p>○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入学共通テスト, 小論文, 集団討論, 個人面接及び出願書類 (志望理由書) の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は, 個人面接, 集団討論, 小論文, 大学入学共通テストの順序で得点の高い者を上位とする。 3. 個人面接の得点が低いと不合格になることがある。 <p>○学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻, 養護教諭養成課程</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入学共通テスト, 集団討論, 個人面接及び出願書類 (志望理由書) の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は, 個人面接, 集団討論, 大学入学共通テストの順序で得点の高い者を上位とする。 3. 個人面接の得点が低いと不合格になることがある。
---------------------------------	--

2-2 医学部 医学科 (総合型選抜Ⅱ)

出 願 要 件

次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者

1. 次にあげる地域の高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月に卒業した者又は令和4年3月に卒業見込みの者
 - (1) 青森県内枠-----青森県
 - (2) 北海道・東北枠-----北海道, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
2. 人物, 学力ともに優れ, 高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が4.3以上の者
3. 卒業(医師国家試験合格を前提)後, 下記の事項について遵守できる者
 - (1) 青森県内枠

卒業後, 直ちに青森県のキャリア形成プログラム(※)にしたがって, 臨床研修を含む9年間(うち4年間は医師の不足している地域)医療に従事すること

なお, 入学者は, 青森県・青森県国民健康保険団体連合会が募集する青森県弘前大学医師修学資金制度の修学生として, 修学資金の貸与を受けなければならない
 - (2) 北海道・東北枠

卒業後, 直ちに青森県のキャリア形成プログラム(※)にしたがって, 臨床研修を含む9年間(うち4年間は医師の不足している地域)医療に従事すること
4. 次のとおり令和4年度大学入学共通テストの5教科7科目をすべて受験する者

(国 語) 国語 を1	
(地 歴) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1
(公 民) 現社, 倫, 政経, 倫政経	
(数 学) 数Ⅰ・数A を1	
数Ⅱ・数B を1	
(理 科) 物理, 化学, 生物 から2	
(外国語) 英語 を1	

注1) 受験を要する教科・科目数を超えて受験した場合は, 得点の高い科目を採用します。ただし, 「地歴」, 「公民」については, 第1解答科目の成績を優先して用います。

注2) 「英語」の配点については, リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を利用します。なお, リスニングの受験を免除された者については, リーディングの成績を200点満点に換算して利用します。

(※)・医療法に基づき, 卒業後は青森県のキャリア形成プログラムが適用される(臨床研修を含む9年間(うち4年間は医師の不足している地域で勤務)医療に従事)
 ・青森県弘前大学医師修学資金制度及びキャリア形成プログラムについての詳細は, 青森県庁ホームページにて確認願います。
 (<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/iryo/ishisyugakushikin.html>)

<p>選 抜 方 法</p>	<p>大学入学共通テストの得点，個人面接及びケーススタディの自学自習の評価を総合して選抜を行います。</p> <p>1. 個人面接 複数の教員により将来性，積極性，信頼感，自己統制，社会性を受験者1人ずつに問う個人面接を行う。 1人当たり25分程度とする。 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。</p> <p>2. ケーススタディの自学自習 与えられたシナリオ及び資料を読み，自身の考えを論述させる。</p> <p>※ワークショップは令和4年度選抜では実施しない。</p>																								
<p>配点， 評価方法， 合否判定基準</p>	<p>【配点】</p> <table border="1" data-bbox="384 707 1273 896"> <thead> <tr> <th colspan="6">大学入学共通テスト</th> <th rowspan="2">個人面接</th> <th rowspan="2">ケーススタディ の自学自習</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>国語</th> <th>地歴</th> <th>公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200</td> <td colspan="2">100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>300</td> <td>100</td> <td>1,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価方法】 (個人面接) 志望理由，医療に対する関心，卒業後の進路等について，質疑応答を行うことにより，「行動力」，「意欲」を評価する。</p> <p>(ケーススタディの自学自習) 読解力，日本語の文章力，論理的な表現力をとおして，「学力」を評価する。</p> <p>【合否判定基準】</p> <p>1. 大学入学共通テスト，個人面接及びケーススタディの自学自習の総得点順に合格者を決定する。</p> <p>2. 総得点と同点の場合は，個人面接，ケーススタディの自学自習の順序で得点の高い者を上位とする。</p> <p>注)「青森県内枠」と「北海道・東北枠」の取扱い</p> <p>(1)「青森県内枠」受験者のうち合計点の点数順に上位27人を「青森県内枠」合格者とする。</p> <p>(2) (1)の結果，「青森県内枠」において，不合格となった者を「北海道・東北枠」に組み入れる。すなわち，「北海道・東北枠」と「青森県内枠 (のうち不合格者)」を合わせて，上位15人を「北海道・東北枠」合格者とする。</p>	大学入学共通テスト						個人面接	ケーススタディ の自学自習	合計	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	200	100		200	200	200	300	100	1,300
大学入学共通テスト						個人面接	ケーススタディ の自学自習				合計														
国語	地歴	公民	数学	理科	外国語																				
200	100		200	200	200	300	100	1,300																	

2-3 医学部 保健学科 (総合型選抜Ⅱ)

出 願 要 件	<p>次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月以降に卒業した者及び令和4年3月に卒業見込みの者、又は高等専門学校3年次を令和4年3月修了見込みの者</p> <p>2. 人物、学力ともに優れ、高等学校等の調査書において以下の要件を満たす者</p> <table border="1" data-bbox="411 450 1396 696"> <tr> <td>看護学専攻</td> <td>調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者</td> </tr> <tr> <td>放射線技術科学専攻</td> <td>調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者で、「数学Ⅰ～Ⅲ」又は「理数数学Ⅰ～Ⅱ」の科目を履修した者</td> </tr> <tr> <td>検査技術科学専攻</td> <td>調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者</td> </tr> <tr> <td>理学療法学専攻</td> <td>調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者</td> </tr> <tr> <td>作業療法学専攻</td> <td>調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者</td> </tr> </table> <p>3. 次のとおり令和4年度大学入学共通テストの5教科7科目をすべて受験する者 (国 語) 国語 を1 (地 歴) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B <input type="checkbox"/> から1 (公 民) 現社, 倫, 政経, 倫政経 <input type="checkbox"/> から1 (数 学) 数Ⅰ・数A を1 数Ⅱ・数B, 情報 から1 (理 科) 物理, 化学, 生物 から2 (外国語) 英語 を1</p> <p>注1) 本学科の指定した教科・科目を受験しない場合(英語のリスニング試験を受験しない場合も含む。ただし、受験を免除された者は除く。)は、当該試験を受験しても合格者とはなりませんので科目名、科目数には十分注意してください。</p> <p>注2) 受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。 ただし、「地歴」、「公民」については、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>注3) 「英語」の配点については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を利用します。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディングの成績を200点満点に換算して利用します。</p>	看護学専攻	調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者	放射線技術科学専攻	調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者で、「数学Ⅰ～Ⅲ」又は「理数数学Ⅰ～Ⅱ」の科目を履修した者	検査技術科学専攻	調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者	理学療法学専攻	調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者	作業療法学専攻	調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者
看護学専攻	調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者										
放射線技術科学専攻	調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者で、「数学Ⅰ～Ⅲ」又は「理数数学Ⅰ～Ⅱ」の科目を履修した者										
検査技術科学専攻	調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者										
理学療法学専攻	調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者										
作業療法学専攻	調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者										
選 抜 方 法	<p>大学入学共通テストの得点、小論文、個人面接及び出願書類(志望理由書)の評価を総合して行います。</p> <p>1. 小論文の出題方式 専攻ごとに1つのテーマについて論述させる。(制限字数800字)60分</p> <p>2. 個人面接 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。</p> <p>3. 出願書類(志望理由書) 志望理由書については、600字以内とする。 志望理由書は、志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉強やさまざまな活動をとおして得た経験を基に自分の考えを記入させる。</p>										

配点,
評価方法,
合否判定基準

【配点】

大学入学共通テスト						小論文	個人面接	出願書類	合計
国語	地歴	公民	数学	理科	外国語				
200	100		200	200	200	100	300	100	1,400

【評価方法】

(小論文)

与えられた課題に対して、主として論理的に自分の考えや意見を論述しているかを採点評価する。

(個人面接)

個人面接（複数の教員で受験者1人ずつの面接）を行い、面接をとおして志望専攻への関心、意欲、適性等を客観的に評価し、教員個々の評価を総合して点数化する。

(出願書類（志望理由書）)

志望理由書は、志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉強やさまざまな活動をとおして得た経験を基に自分の考えを記入させる。本学科に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」及び「意欲」を評価する。

出願書類はA～Dに4段階評価し、点数化する。各段階の評価点数は、A：100点、B：75点、C：50点、D：25点とする。

※調査書は令和4年度選抜では評価対象としない。

【合否判定基準】

1. 大学入学共通テスト、小論文、個人面接及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。
2. 総得点が同点の場合は、小論文、個人面接、出願書類（志望理由書）の順序で得点の高い者を上位とする。

<p>2-4 農学生命科学部（総合型選抜Ⅱ） 生物学科 分子生命科学科</p>	
出願要件	<p>次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月以降に卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者、又は高等専門学校3年次を令和4年3月修了見込みの者 2. 人物が優れ、志願する学科の教育・研究内容に強い興味があり、自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し、かつ十分な基礎学力を有する者 3. 次のとおり令和4年度大学入学共通テストの3教科3科目又は3教科4科目を受験する者 <ul style="list-style-type: none"> (数 学) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 (理 科) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, _____ から2又は3 物理, 化学, 生物, 地学(※1) _____ (※2) (外国語) 英語 を1(※3) <p>(※1) 理科を受験する場合は、A～Dのいずれかのパターンを満たしてください。 A 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目選択 B 物理, 化学, 生物, 地学から1科目選択 C 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目選択及び物理, 化学, 生物, 地学から1科目選択(同一名称を含む科目同士の選択を認める) D 物理, 化学, 生物, 地学から2科目選択</p> <p>(※2) 200点満点で科目を選択してください。 200点満点を超えて受験した場合は、得点の高い組合せ(200点満点)を採用します。ただし、理科(Dパターン)については、第1解答科目の成績を優先して用います。 なお、数学と理科に関しては、必ずしも両方を選択する必要はなく、例えば、理科(C又はDパターン)のように1教科のみで200点満点になる科目選択も可能です。</p> <p>(※3) 英語にはリスニングを含みます。 配点については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)とし、合計点(200点満点)を100点満点に換算して利用します。リスニングの受験を免除された者は、リーディング(100点満点)をそのまま利用します。</p>
選抜方法	<p>大学入学共通テストの得点、個人面接及び出願書類(志望理由書)の評価を総合して選抜を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人面接の方法 複数の教員による個人面接を20分程度で行う。 具体的には、アドミッション・ポリシーに掲げた農学生命科学部及び各学科が求める学生像に適するかどうかを総合的に判断するための質問を行う。また、面接の過程で、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認するため、口頭試問を行う。 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接時の参考資料にすることがある。 2. 出願書類(志望理由書) 志望理由書は、志望理由、将来への展望、自己PRなどについて、これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に記入する。(制限字数600字)

配点,
評価方法,
合否判定基準

【配点】

大学入学共通テスト			個人面接	出願書類	合計
数学	理科	外国語			
100 又は 200	100 又は 200	100	400	50	750
┌───┐ 200					

【評価方法】

(個人面接)

志望理由, 興味・関心がある研究分野などについて, 質疑応答を行うことにより, 「行動力」, 「意欲」を評価する。また, 面接の過程で, 口頭試問を行うことにより, 「学力」を評価し, 点数化する。

(出願書類 (志望理由書))

志望理由書においては, 本学部に対する理解や, 専門分野に対する強い興味・関心, 主体的に学び続けようとする積極性などにより, 「行動力」, 「意欲」を評価する。

出願書類はA～Dに4段階評価し, 点数化する。各段階の評価点数は, A : 50点, B : 40点, C : 30点, D : 10点とする。

※調査書は令和4年度選抜では評価対象としない。

【合否判定基準】

1. 大学入学共通テスト, 個人面接及び出願書類 (志望理由書) の総得点順に合格者を決定する。
2. 総得点が同点の場合は, 個人面接, 大学入学共通テストの順序で得点の高い者を上位とする。

7 合格者の発表

合格者発表日		発表方法
総合型選抜Ⅰ	人文社会科学部 教育学部 理工学部 農学生命科学部 令和3年11月18日（木） 午後2時（予定）	特設サイト (https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/) 上で発表
総合型選抜Ⅱ	教育学部 医学部 農学生命科学部 令和4年2月9日（水） 午後2時（予定）	

合格者には、「合格通知書」を合格発表後速やかに、出願時の登録住所あてに速達で郵送します。合格者の受験番号は本学ホームページでも確認できますが、ホームページの掲載情報は本学の情報提供サービスの一環として行うものであり、「合格通知書」をもって正式な通知とします。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

注)「合格通知書」の到着には、地域にもよりますが、合格発表後2～3日かかる場合があります。

8 入学手続

1. 入学手続の方法

合格者へは、「合格通知書」送付時に入学手続に必要な書類を送付します。

入学手続は、インターネットを利用した入学手続登録の完了後、必要書類を郵送してください。

期限までに手続を完了しない方は、入学を辞退したものと取り扱います。

入学手続期限	令和4年2月21日（月）午後5時までに到着するように、必要書類一式を「書留速達」で郵送してください。 〔郵送先〕：弘前大学学務部入試課
--------	--

2. 入学手続の際に提出・納付するもの

入学手続の際には、以下のものが必要になります。

詳細は合格通知書送付の際にお知らせします。

(1) 大学入学共通テスト受験票	総合型選抜Ⅱ合格者のみ。 試験後も大切に保管しておいてください。
(2) 誓約・保証書	インターネット入学手続サイトからダウンロードします。 本人と連帯保証人（身元引受人）それぞれの印鑑が必要になります。
(3) 入学料 282,000 円（予定）	合格通知の際に、本学所定の振込用紙を送付します。銀行窓口での納付となります。

- ※ 授業料は、年額535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）（予定）になります。納付期限等は、前期分5月31日、後期分10月31日です。
- ※ 入学時までに入学科及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- ※ 入学料及び授業料の免除・徴収猶予については、「9 入学料及び授業料の減免について」をご覧ください。

3. 入学手続に関する注意事項

- ① 合格者は、本学に入学しなければなりません。特別な事情によって入学を辞退する場合は、入学手続日までに本学の許可を得なければなりません。
- ② 入学手続完了者は、一般選抜を受験しても合格者となることはできません。
- ③ 本学への入学手続を行わず、辞退の手続きも行っていない場合は、その後、本学及び他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者となることはできません。
- ④ 納付済みの入学料については、入学手続完了後は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 納付済みの授業料については、令和4年3月31日（木）午後5時までに入学を辞退した場合に限り、当該授業料相当額を返還します。

9 入学料及び授業料の減免について

＜日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用候補者の方」へ＞

日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用候補者の方」は、本学への入学手続の際に入学料及び授業料の減免を申請することにより、入学料及び令和4年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

なお、減免申請手続きの詳細は、合格者の方に送付する文書に記載しています。

＜日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申し込む方へ＞

日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用」に申し込まなかった方も、本学入学後に同機構の給付奨学生の「在学採用」に申し込み、給付奨学生に採用された場合は、入学料及び令和4年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

なお、一連の手続きに関する詳細は、合格者の方に送付する文書に記載しています。

- ※ 日本学生支援機構の給付奨学生に申し込むためには、「家計の経済状況に関する要件」や「国籍・在留資格に関する要件」、「大学等に進学するまでの期間に関する要件」など、いくつかの要件をすべて満たしている必要があります。ついては、日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申し込む場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」→「入学料・授業料免除の申請」に記載されている関連リンク先を参照の上、「在学採用」の認定要件を満たしているか否かを必ず確認してください。

なお、「国籍・在留資格に関する要件」もしくは「大学等に進学するまでの期間に関する要件」を満たしていないために日本学生支援機構の給付奨学生に申し込めない方であつて、かつ、経済的に困難な家庭の学生を対象とした本学独自の支援金給付事業（弘前大学入学料及び授業料相当額支援金給付事業）があります。（日本国籍を有して、かつ、高等学校卒業から3年以内に本学に入学する方は本支援金給付事業に申し込むことはできませんので注意してください。）

本支援金給付事業の選考に際しては、日本学生支援機構の給付奨学生の「家計の経済状況に関する要件」を準用します。

また、本支援事業は学内予算を用いて実施するため、予算の状況によっては、本事業による支援が実施できない場合もあります。

〈重要事項説明〉

日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用候補者の方」、同機構の「在学採用」に申し込む方及び弘前大学入学料及び授業料相当額支援金給付事業に申請した方は、本学から「授業料等減免認定結果通知書」又は「支援金選考結果通知書」が届くまでは、絶対に、入学料及び令和4年度前期授業料を支払わないでください。

本学から送付される「授業料等減免認定結果通知書」又は「支援金選考結果通知書」を受け取る前に、入学料もしくは令和4年度前期授業料を支払ってしまった場合、入学料及び授業料の減免申請、相当額給付申請は無効となりますので、十分に注意してください。

〈問合せ先〉

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部学生課 生活支援グループ

電話：0172 (39) 3117

時間：平日9：00～17：00

※令和4年2月24日、25日及び3月11日、12日、22日は一般選抜実施及びその準備のため不在となります。窓口での申請書類受取及び電話照会ができませんので注意してください。

10 学生寮への入寮について

入寮を希望する場合は、事前に「入寮希望調書」等を提出する必要があります。以下の方法により必要書類を取り寄せ、期日までに提出してください（受験区分によっては、入学試験日・合格発表日より前に受付期間が設けられている場合がありますので、ご注意願います）。

(1) 必要書類の請求方法

① 郵送により請求する場合

- ・往信用封筒の表に「入寮案内請求」と朱書きしてください。
- ・往信用封筒の裏に「住所」、「氏名」を記入してください。
- ・返信用封筒（長形3号、返信先住所・宛名記入、切手94円分貼付）を同封してください。

② 弘前大学ホームページから取得する場合

- ・所定の様式等をダウンロードしてください。

③ 入寮案内等の発送並びにダウンロード開始は、令和4年1月5日（水）からです。

(2) 資料の請求先（入寮に関する問合せもこちらまで）

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部学生課 学生支援グループ
電話：0172 (39) 3107

(3) 入寮希望調書等の受付期間（最終日17時必着）

令和4年2月1日（火）～令和4年2月15日（火）

11 合格しなかった場合の取扱い

総合型選抜に合格しなかった者が、一般選抜の受験を希望する場合は、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの国公立大学・学部に出願することができます。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入学共通テストの受験を要する教科・科目が異なる場合がありますので特に注意してください。

「令和4年度学生募集要項（一般選抜）」（11月下旬公表予定）は本学入試情報ホームページ（<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>）からダウンロードできます。

12 入学試験個人成績の開示

令和4年度入学試験における個人成績を以下のように開示します。

開示内容	総得点及び試験科目毎の得点を開示します。 ※大学入学共通テストの結果に関しては、選考で使用した傾斜配点後の得点を科目毎に開示します。
開示方法及び期間	令和4年5月6日（金）～5月31日（火）の期間中にインターネット出願サイトから閲覧できます。閲覧には出願時の受付番号（12桁）、生年月日、メールアドレスの入力が必要です。 URL： https://e-apply.jp/e/hirosaki-u/

13 個人情報の取扱い

(1) 利用目的

志願者から提出された個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用します。

- ①入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。
- ②入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。
- ③その他、教育・研究に関すること。

上記の利用目的に係る個人情報の取扱い業務の全部又は一部を外部に委託する場合があります。

(2) 国公立大学間の情報提供

国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報（氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テスト受験番号）を大学入試センター及び併願先国公立大学へ提供します。

(3) 第三者への提供

入学後の学生生活支援等のため、志願者の希望に基づき、弘前大学と業務委託契約を締結している弘前大学生生活協同組合から資料（新生活サポート、教科書教材、アパート等の情報パンフレット）を送付します。

資料請求を希望する方の同意がある場合に限り、弘前大学生生活協同組合へ個人情報（氏名、住所、電話番号、受験番号）を提供します。同意の有無については、インターネット出願時に確認いたします。

(4) 保健所等の行政機関への提供

受験者や試験監督者等の新型コロナウイルスへの感染が判明した場合に、濃厚接触者の特定を行うため、受験者リストを域内の保健所等の行政機関に提供します。

(5) EU一般データ保護規則（GDPR）の適用に係る手続きについて

欧州経済領域（EEA）に在住する者は、EU一般データ保護規則（General Data Protection Regulation（GDPR））の適用を受けるため、別に手続きが必要となるので、事前に下記連絡先に連絡してください。

弘前大学学務部入試課 電話：0172-39-3122 FAX：0172-39-3125
メール：nyushi@hirosaki-u.ac.jp

14 各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

人文社会科学部

1) 人文社会科学部が求める学生像

人文社会科学部では、多元的な文化理解と現代社会に対する多面的理解を重視したカリキュラムを提供することによって、地域文化を含む自国の文化を創造し発信する力、地域課題を含めて現代社会が直面している諸課題を発見・分析・解決する力を養い、社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 人文科学と社会科学の諸領域（考古学、歴史学、文学、哲学、法学、経済学、経営学、社会学等）に関わる専門的知識・技能を習得するための基礎学力
- 学んだ専門的知識・技能を文化の振興や社会の発展に役立てるための行動力
- 人間文化の発展に貢献することや現代社会が直面する複雑な問題を解決することへの意欲

また、人文社会科学部の各課程は、それぞれ次のような学生を求めます。

【文化創生課程】

- 地域社会の発展のために、地域の文化振興や地域のグローバル化の推進等の活動を担っていきけるような行動力のある人
- 国内外の有形無形の文化を人類共通の遺産として次世代に伝えていくこと、深い歴史認識に立って世界情勢を的確に見極めることに意欲的である人

【社会経営課程】

- 地域社会の発展のために、自治体の政策立案や地域産業の育成、地域住民との協働による問題解決等に貢献していくことができるような行動力のある人
- 少子高齢化や人口減少、経済・産業基盤の変化等、現代社会が直面する諸課題を解決することに意欲的である人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 教科・科目の学習をとおして、歴史文化や社会に関する基礎知識をはじめ、論理的思考力・情報処理能力、コミュニケーション能力等を身に付けておく必要があります。
- グループ学習等の体験型学習をとおして、自分自身の考えを積極的に発信していく力や学習に主体的に参加する姿勢を身に付けておく必要があります。
- 物事を多面的に理解し、複雑化した問題を的確に分析する力を養うために、国内外のさまざまな問題に広く関心を持つ姿勢や、多様な分野の学習に積極的に取り組む姿勢を身に付けておく必要があります。

3) 入学者選抜の基本方針

人文社会科学部では、人文社会科学分野の人材として育つにふさわしい学力・行動力・意欲を有する学生を選抜する目的で、多面的・総合的な評価方法により、別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	志望理由書				
	調査書				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	◎	○	○
	小論文				
	志望理由書				
	調査書				
総合型選抜Ⅰ	小論文	本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で、本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○	◎	◎
	個人面接				
	学習計画書				
	調査書				

注) 点数評価・段階評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

【別表2】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	一般・後期	人間の営みや現代社会が直面している課題等について、文献等の資料を提示し自分の考えを述べさせる。 資料が示していることを十分に理解しているか、設問に対して自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「学力」を評価する。
	総合Ⅰ	一つのテーマについて論述させる。 設問に対して自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「学力」を評価する。
個人面接	総合Ⅰ	自己PR、志望理由と入学後の学習計画、大学卒業後の進路等について口頭発表させ、発表内容に関する質疑応答を行う。 アドミッション・ポリシーを念頭に置いた志望課程への関心と意欲が高いか、大学入学後の学習計画と将来への見通しについては明確か、質疑応答が的確になされているか等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価する。
志望理由書	一般・前期	志望理由について、これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を元に記述させる。 専門分野に対する興味・関心などが高いか等を判断基準として、「意欲」を評価する。
	一般・後期	
学習計画書	総合Ⅰ	志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を元に記述させる。 アドミッション・ポリシーを理解し自己PRができているか、志望理由が明確で学習計画は的確に立てられているか、将来の進路希望は明確か等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価する。
調査書	一般・前期	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・各種の資格等の取得等を判断基準として、「行動力」を評価する。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	

※令和4年度選抜においては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う措置により、選抜方法、評価要素等が、「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

教 育 学 部

1) 教育学部が求める学生像

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる、学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 将来、教員になるための素養と、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、地域社会における教育に参画していかうとする行動力
- 教育者を目指して知的・人格的に成長していかうとする意欲

また、教育学部の各課程・専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

【学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻】

- 小・中学校等の教員として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来、小・中学校等の教員として、学校教育に貢献したいという強い意志と、明確な目標を持っている人

【学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻】

- 障害等の特別な教育的ニーズを教育、心理、病理などの多方面から理解し支援するために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来、特別支援学校等の教員として、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

【養護教諭養成課程】

- 養護教諭として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 子どもの健康に高い関心を持ち、将来、養護教諭として学校教育に貢献するという強い意志を持つ人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 高等学校で履修する教科・科目の基礎的理解だけでなく、取得する教員免許に則した深い学び、課題の把握とその解決に向けたプロセスをわかりやすく表現や説明できる力を習得しておくことが必要です。
- 将来、教員として同僚や児童・生徒、保護者とのコミュニケーションを円滑に育めるように、課外活動やボランティア活動など、多様な人々と積極的に関わっていく主体的な経験が望まれます。
- 日頃から社会情勢や教育問題に対して関心を持ち、困難な問題にも安易にあきらめることなく乗り越えるための努力を惜しまない姿勢と、自己を高める継続的な向上心を身に付けておくことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

教育学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】 入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	小学校コース, 中学校コース (音楽専修・美術専修・保健体育専修を除く), 特別支援教育専攻, 養護教諭養成課程		◎	○	○
	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価すると共に, 教員としての適性・資質・能力, 教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から, 左記の方法により総合評価して選抜します。			
	個別学力検査				
	個人面接				
一般選抜 (後期)	小学校コース		◎	○	○
	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価すると共に, 小学校教員としての適性・資質・能力, 教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から, 左記の方法により総合評価して選抜します。			
	個人面接				
総合型選抜Ⅰ	中学校コース (音楽専修・美術専修・保健体育専修)		◎	○	○
	実技試験	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで, 本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な, 音楽・美術・保健体育の教員としての基礎的な学力 (技能および知識) と資質・適性, 教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から, 左記の方法により総合評価して選抜します。			
	個人面接				
	出願書類 (調査書)				
総合型選抜Ⅱ	小学校コース, 特別支援教育専攻, 養護教諭養成課程		◎	◎	◎
	共通テスト	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで, 本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な, 教員としての適性・資質・能力, 教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価すると共に, 高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から, 左記の方法により総合評価して選抜します。			
	小論文 小学校コースのみ				
	集団討論				
	個人面接				
出願書類 (調査書・志望理由書)					

注) 点数評価・段階評価する項目のうち, ◎大きい比重, ○小さい比重

注) 一般選抜では, 調査書は面接試験の参考とする。

注) 総合型選抜Ⅰの保健体育専修では, スポーツ競技歴等が分かる資料を面接試験の参考とする。

【別表2】 選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
実技試験	総合Ⅰ	中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修） 事前に提示した課題または運動種目について実技試験を行う。 基本的な能力・技術等を把握し、音楽・美術・保健体育の教員として必要な「学力」を評価する。 音楽専修においては、演奏楽曲に関する知識等に関する口頭試問も含む。
小論文	総合Ⅱ	小学校コース 広い意味での教育に関する課題について自身の考えを記述させる。 ①内容（出題の意図を的確にとらえ、自分なりの考えを明確に主張しているか等）、②表現（文章の論理構成、適切な日本語、文字の表記、字数の過不足）により、「学力」と「意欲」を評価する。
集団討論	総合Ⅱ	小学校コース、特別支援教育専攻、養護教諭養成課程 与えられたテーマについてグループで討論を行う。 討論をとおして、①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力、②発言内容、③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価する。
個人面接	一般・前期	質疑応答等をとおして、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。 総合Ⅰの美術専修及び保健体育専修においては、それぞれ美術と保健体育に関する知識を問う口頭試問も行い、「学力」も評価する。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
調査書	総合Ⅰ	高等学校での教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校内外での活動、各種の資格・免許取得などにより、主に「行動力」を評価する。
	総合Ⅱ	
志望理由書	総合Ⅱ	小学校コース、特別支援教育専攻、養護教諭養成課程 志望理由や活動実績等の内容から、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し、主に「意欲」を評価する。

※令和4年度選抜においては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う措置により、選抜方法、評価要素等が、「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

医学部医学科

1) 医学部医学科が求める学生像

医学部医学科では、豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者の養成を目的としています。

そのような人材の養成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 医学教育を受けるに十分な素養で、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら、高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践してゆく行動力
- 生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち、何事にも前向きに取り組む、知的・人格的に成長していこうとする意欲

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 医学を修めるために、理系科目だけでなく、英語や文系科目もしっかりと履修し、応用力を伴った総合的学力を身に付けておくことが必要です。
- 将来、さまざまな医療職と連携し、多様なニーズに対応できる医療を実践するためには、コミュニケーション能力と協調性を身に付けておくことが必要です。
- 医学・医療を取り巻く社会問題や地域の動向に関心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を身に付けておくことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部医学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	総合問題				
	個人面接				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価する観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	◎	◎
	ケーススタディの 自学自習				
	ワークショップ				
	個人面接				
学士編入学 (第2年次)	TOEFL	修業年限4年以上の大学卒業レベルの学習の達成度及びさまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	○
	基礎自然科学・ 数学				
	個人面接				

注) 配点により評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

注) 一般選抜(前期)及び総合型選抜Ⅱの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とする。

注) 学士編入学(第2年次)の個人面接では、志望理由書を参考資料とする。

【別表2】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
総合問題	一般・前期	文章や資料の読解、分析を含め総合的思考力を試す設問により、「学力」を評価する。
個人面接	一般・前期	事前に提出される「志望理由書」を資料に用いて、志望理由、医療に対する関心、卒業後の進路等について、質疑応答を行うことにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
	総合Ⅱ	
	学士編入学	
ケーススタディ の自学自習	総合Ⅱ	与えられたシナリオ及び資料を読み、自身の考えを論述させる。読解力、日本語の文章力、論理的な表現力をとおして、「学力」を評価する。
ワークショップ	総合Ⅱ	与えられたテーマについて、グループで問題を解く。コミュニケーション能力、協調性、積極性等により、「行動力」、「意欲」を評価する。
TOEFL	学士編入学	英語について、修業年限4年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価する。
基礎自然科学・ 数学	学士編入学	物理・化学・生物・数学の筆記試験をとおして、修業年限4年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価する。

※令和4年度選抜においては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う措置により、選抜方法、評価要素等が、「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

医学部保健学科

1) 医学部保健学科が求める学生像

医学部保健学科では、保健医療の高度な知識及び技術を習得し、豊かな人間性と問題解決能力を備え、創造性、独創性と国際的視野を有し、社会で活躍できる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 保健医療専門職となるための学修に必要な基礎的学力
- 将来、他の医療職者と協調しながら保健医療活動を実践するための行動力
- 向上心と研究心を基に、保健医療の実践者として社会に貢献する強い意欲

また、医学部保健学科の各専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

【看護学専攻】

- 人間や生命、健康に関心を持ち、看護専門職者として知的・人格的に成長しようとする意欲のある人
- 人間の尊厳を重んじ、人や社会、文化の多様性を認め、人と良好な関係を築くことができる人

【放射線技術科学専攻】

- 診療放射線技師専門職となるための学修に必要な学力を有し、特に理系の科目をしっかりと履修した人
- チーム医療の一員として積極的にコミュニケーションを図り、他の医療技術者と互いに協力し合い、より良い医療を提供するための行動力のある人
- 医療を安全に行う能力を有し、生涯にわたり向上心・探究心を持ち続け、知的・人格的に成長しようとする意欲のある人

【検査技術科学専攻】

- 医療従事者としての自覚とチーム医療遂行のための協調性を持ち、鋭い観察力と洞察力ならびに応用力を備えて保健医療の発展のために積極的に行動できる人
- 自然科学、保健医療、臨床検査に強い関心を持ち、検査職をとおして人々の健康維持・増進に積極的に取り組む意欲のある人

【理学療法学専攻】

- 他者と適切な関係を築きながら、さまざまな人たちと協働して、障害者等が抱える問題の解決に取り組む行動力を有する人
- 理学療法士として向上心・研究心を持って保健医療に取り組み、障害者等のリハビリテーションに貢献したいという強い意欲のある人

【作業療法学専攻】

- 作業療法の対象者の個別の価値観や生活を尊重し、対象者の希望に沿った作業活動を考えつつ実践するための行動力のある人
- チーム医療の一員として、他職種を尊重しながら、作業療法を積極的に実行する意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 医療従事者は、高度な知識や技術が求められますので、高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
- チーム医療の一員として医療に関わることも多いため、課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望まれます。
- 研究心や探求心などにに基づき、さまざまなことに関わる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部保健学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するとともに、医療従事者としての資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	小論文(該当する専攻のみ)				
	志望理由書				
	調査書				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための基礎的学力、資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	小論文				
	個人面接				
	志望理由書				
	調査書				
編入学入試 (第3年次)	学力検査	専門教育についての学習に強い意欲と行動力を評価するという観点から、「学力」については、学力検査と小論文、「意欲」、「行動力」については個人面接で評価し、総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	小論文				
	個人面接				

注) 点数評価・段階評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

注) 編入学試験では、志望理由書は面接の基礎資料とする。

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	一般・前期	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力、論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。 また、さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力の観点から「意欲」、「行動力」も評価します。
	編入学	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。
	総合Ⅱ	日本語の文章力、論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。
個人面接	総合Ⅱ	自己PR、志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路、高等学校での学習や課外活動等について質疑応答を行います。
	編入学	志望理由、専門分野に関する興味関心についての質疑応答の内容から「意欲」、課外活動・ボランティア活動についての質疑応答の内容から「行動力」を評価します。
学力検査	編入学	英語の基礎学力を問う問題に解答させます。 英文和訳においては英語の文章の読解力と日本語の表現力を評価します。
志望理由書	一般・前期	志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉強やさまざまな活動をとおして得た経験を基に自分の考えを記入させます。
	総合Ⅱ	本学科に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「意欲」を評価します。
調査書	一般・前期	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などにより、主に「行動力」を評価します。
	総合Ⅱ	

※令和4年度選抜においては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う措置により、選抜方法、評価要素等が、「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

理 工 学 部

1) 理工学部が求める学生像

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養うカリキュラムを提供することによって、自然のしくみを探究する力、先端技術社会を支える科学を進展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 専門教育の基礎となる理数系の学力、および社会の中で専門的能力を活かすための基礎学力
- 高等学校までに学習すべき課題に真摯に取り組むとともに、自らの個性や資質に合わせてその他の活動にも積極的に参加し、自らを成長させていく行動力
- 専門を生かして新たな課題を見だし、解決するために学び続ける意欲

また、理工学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【数物科学科】

(数学型)

- 数理科学への強い興味を持ち、数理科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 探究心が旺盛で豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって社会に貢献する意欲のある人

(物理型)

- 自然の基本原理に興味を持ち、物理学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 物質を構成しその性質を決定している量子の世界から広大な宇宙の世界までを支配している自然の基本原理を理解し、より深く探求することやその成果を社会へ還元することに意欲のある人

【物質創成化学科】

- 化学物質の構造や化学反応のしくみを物質の機能と結びつけて探求することに興味を持ち、化学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 自ら課題を見だし、暮らしを豊かにする機能性物質や環境調和を指向した機能性材料を創成し、リサイクル、省資源、エネルギー創成技術等に関する諸課題を解決するための研究開発に意欲のある人

【地球環境防災学科】

- 宇宙空間、大気・水圏、地質・岩石、地震・火山等を対象とした地球科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲を持つ人
- 自ら課題を見だし、地球に関する科学の深化や、地球環境問題の解決、自然災害の防止に貢献することに意欲のある人

【電子情報工学科】

- 電子回路、電子材料、コンピュータとソフトウェア、通信ネットワーク、セキュリティ、組込みシステムなどの電子情報工学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 電子情報工学の発展に強い関心を持ち、学んだことの成果を社会のさまざまな分野で活用することに意欲のある人

【機械科学科】

- 医用・福祉，環境・エネルギー，航空宇宙，輸送機械，ロボット，A I，ナノテクノロジーなどの機械科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ものづくりに関する科学技術の発展に強い関心を持ち，失敗を恐れず継続してものごとに取り組む，学んだことの成果を社会のさまざまな領域で活用することに意欲のある人

【自然エネルギー学科】

- 自然や人間社会に深い興味を持ち，自然エネルギーに関する多様な分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 地域に存在する自然エネルギー源を利用することや，その活用に意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 理工学分野の学問を学ぶために必要な力として，論理的思考力，自然科学に関する基礎知識，表現やコミュニケーションの能力を身に付けておくことが必要です。
- 自ら課題を探求し，主体的に取り組む学習態度，新しい発見や創造的な活動に取り組むための行動力が必要です。また，他者と協働して学習や研究などに取り組むことができる行動力や学習態度が必要です。
- 困難な課題に対しても安易にあきらめることなく取り組み，やり遂げようとする意欲を持ち続けることが必要です。また，自然界の仕組みや社会を支える技術について日頃から興味を持ち，学習に自発的に取り組む態度が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

理工学部では，前記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により，別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点に、本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための意欲、行動力に関する観点を加味し、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	出願書類(志望理由書・調査書)				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点に、本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための意欲、行動力に関する観点を加味し、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	出願書類(志望理由書・調査書)				
総合型選抜Ⅰ	講義の実施とその内容に関するレポート	本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	個人面接(基礎学力に関する試問を含む)				
	出願書類(志望理由書・調査書)				
編入学入試 (第3年次) 推薦	個人面接(基礎学力に関する試問を含まない)	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	志望理由書				
	推薦書				
	調査書				
編入学入試 (第3年次) 一般	個人面接(基礎学力に関する試問を含む)	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	志望理由書				
	調査書又は成績証明書				

注) 点数評価・段階評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
個人面接	総合Ⅰ	基礎学力に関する試問において、学部のカリキュラムに基づく学習を進めるのに必要な「学力」を評価します。また、志望動機、入学後の履修計画、卒業後の見通しなどに関する総合的な質疑により、「意欲」および「行動力」を評価します。
	編入学	
講義の実施とその内容に関するレポート	総合Ⅰ	学部において実施する講義に、能動的に対応するために必要な「学力」および「行動力」を評価します。
出願書類(志望理由書・調査書)	一般・前期	志望理由書に記載された志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から、「意欲」に関する評価を行います。また、調査書記載の学習や課外活動に対する取組状況から「行動力」に関する評価を行います。以上の評価を総合して段階評価とし、その評価に応じた加点を行います。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
志望理由書	編入学	志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から、「意欲」に関する評価を行います。
推薦書	編入学	これまでの学習に対する取組や学習意欲に関する客観評価から、「意欲」および「行動力」の評価を行います。
調査書又は成績証明書	編入学	これまでの学習に対する取組状況から、「行動力」の評価を行います。また、3年次以降の履修に対応する「学力」についても評価します。

※令和4年度選抜においては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う措置により、選抜方法、評価要素等が、「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

農学生命科学部

1) 農学生命科学部が求める学生像

農学生命科学部では、農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身に付け、課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき、創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育や、農学および生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力
(高等学校の教科全般、特に理科、英語、数学)
- 農学および生命科学をとおして国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
- 農学と生命科学に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

また、農学生命科学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【生物学科】

- 生物学の遺伝子レベルから生態系レベルにわたるさまざまな基礎的知識や応用的知識を、実社会への参画をみすえ、積極的に身に付けようとする行動力を持つ人
- 生物学に強い興味を持ち、動植物の生命現象の解析を通じて、生物の基礎的現象のしくみや生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムの解明に意欲のある人

【分子生命科学科】

- 分子レベルでの生命現象の理解や知識を活用した産業（例えば、医薬品、食品、化学工業など）および学問分野で活躍しようとする行動力を持つ人
- 生命現象のしくみや機能に興味を持ち、高校で学習した生物や化学の知識を基に分子レベルでこれを理解し、さらに追求する意欲のある人

【食料資源学科】

- バイオテクノロジー、食品科学、作物生産環境について目的意識を持って学ぶことができ、これらの研究を積極的に行うことができる行動力を持つ人
- 学びの中からさまざまな課題を自ら見出し、解決する力を養い、学修後にそれを食料生産や食品産業に役立てようとする意欲のある人

【国際園芸農学科】

- 地域農業の活性化や国際的な展開に取り組む行動力を持つ人
- 農業生産の技術とその原理を学ぶことに意欲のある人
- 食と農の経済を学ぶことに意欲のある人

【地域環境工学科】

- 自立した農業土木技術者として、社会的責任を自覚し、自主的継続的に学修し、多様な人々と協働し、国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
- 数学や物理学などの自然科学に関する工学基礎知識を身に付け、水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な工学知識を習得した農業土木技術者を目指し、国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 農学および生命科学の各分野の教育を受けるために必要な基礎学力だけでなく、論理的思考力、読解力、記述能力などの修得が必要です。
- 自分自身の考えを持ち、さまざまな課題に立ち向かい、解決する行動力を身に付けておくことが必要です。
- 実験室のみならずフィールドでの学習・研究活動を自主的かつ積極的に取り組む意欲が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

農学生命科学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、共通テストと個別学力検査により「学力」を評価します。また、志望理由書と調査書により「行動力」、「意欲」を評価します。これらを総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	志望理由書				
	調査書				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、共通テストと小論文により「学力」を評価します。また、志望理由書と調査書により「行動力」、「意欲」を評価します。これらを総合評価して選抜します。	◎	○	○
	小論文				
	志望理由書				
	調査書				
総合型選抜Ⅰ	志望理由書	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	◎	◎
	調査書				
	小論文				
	個人面接				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。また、基礎学力をより適正に判断するため、共通テストの成績を選抜に用います。	○	◎	◎
	志望理由書				
	調査書				
	個人面接				
編入学入試 (第3年次)	小論文	本学部で専門教育を受けるために必要な「学力」、「行動力」、「意欲」を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個人面接				
	編入学願				
	成績証明書				

注) 点数評価・段階評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	一般・後期	農学や生命科学などに関連する、いくつかのテーマについて論述させる。論理的思考力、読解力、記述能力などを有しているかどうかを精査することにより、「学力」を評価する。
	総合Ⅰ	
	編入学	
個人面接	総合Ⅰ	志望理由、興味・関心がある研究分野などについて、質疑応答を行うことにより、「行動力」、「意欲」を評価する。また、面接の過程で、口頭試問を行うことにより、「学力」を評価する。編入学入試では「学力」を重視するため、より専門的な内容の口頭試問を行うことがある。
	総合Ⅱ	
	編入学	
志望理由書	一般・前期	志望理由、将来への展望、自己PRなどについて、これまでの勉強やさまざまな活動をとおして得た経験を基に記入する。本学部に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
調査書	一般・前期	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
編入学願	編入学	本学部に対する理解、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
成績証明書	編入学	教養科目や専門科目の成績を精査することにより、各学科の教育研究内容に関連する「学力」を評価する。

※令和4年度選抜においては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う措置により、選抜方法、評価要素等が、「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

問合せ先一覧

■弘前大学の問合せ先

内 容	担当部署	連 絡 先
入学試験全般に関すること	学務部入試課	0172-39-3122 (FAX) 0172-39-3125
検定料の支払い及び返還に関すること		
入学手続に関すること		
入学料、授業料の免除等に関すること	学務部学生課	0172-39-3117
奨学金に関すること		
学生寮に関すること		
授業料の口座振替に関すること	財務部財務管理課	0172-39-3043
カリキュラム、資格取得等に関すること 注) 右欄の学部の入学試験に関することは、 学務部入試課へお問い合わせください。	人文社会科学部	0172-39-3940
	教育学部	0172-39-3939
	理工学部	0172-39-3930
	農学生命科学部	0172-39-3752
入学試験に関すること カリキュラム、資格取得等に関すること	医学部医学科	0172-39-5204 0172-39-5206 (入試)
	医学部保健学科	0172-39-5911

※平日8:30~17:00 (年未年始を除く。) ただし、学生課は9:00~17:00

※電話による問合せは、やむを得ない場合を除き、志願者本人が行ってください。

■インターネット出願サイトに関する問合せ先

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター (運用会社：株式会社ディスコ)	0120-202079
--	-------------

■弘前大学生協同組合への問合せ

弘前大学生協サポセン (https://newlife.u-coop.or.jp/hirosaki/) 保護者説明会、新生活準備 (教材・教科書・住まい紹介等) に関すること ※平日10:00~16:00 (年未年始を除く。)	0120-154-163 携帯からは↓ 0172-34-9591
試験時の宿泊やチケット予約に関すること 下記からお問い合わせください。 https://newlife.u-coop.or.jp/hirosaki/ready/	電話でのお申込は お受けできません



弘前大学公式ホームページ
<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>



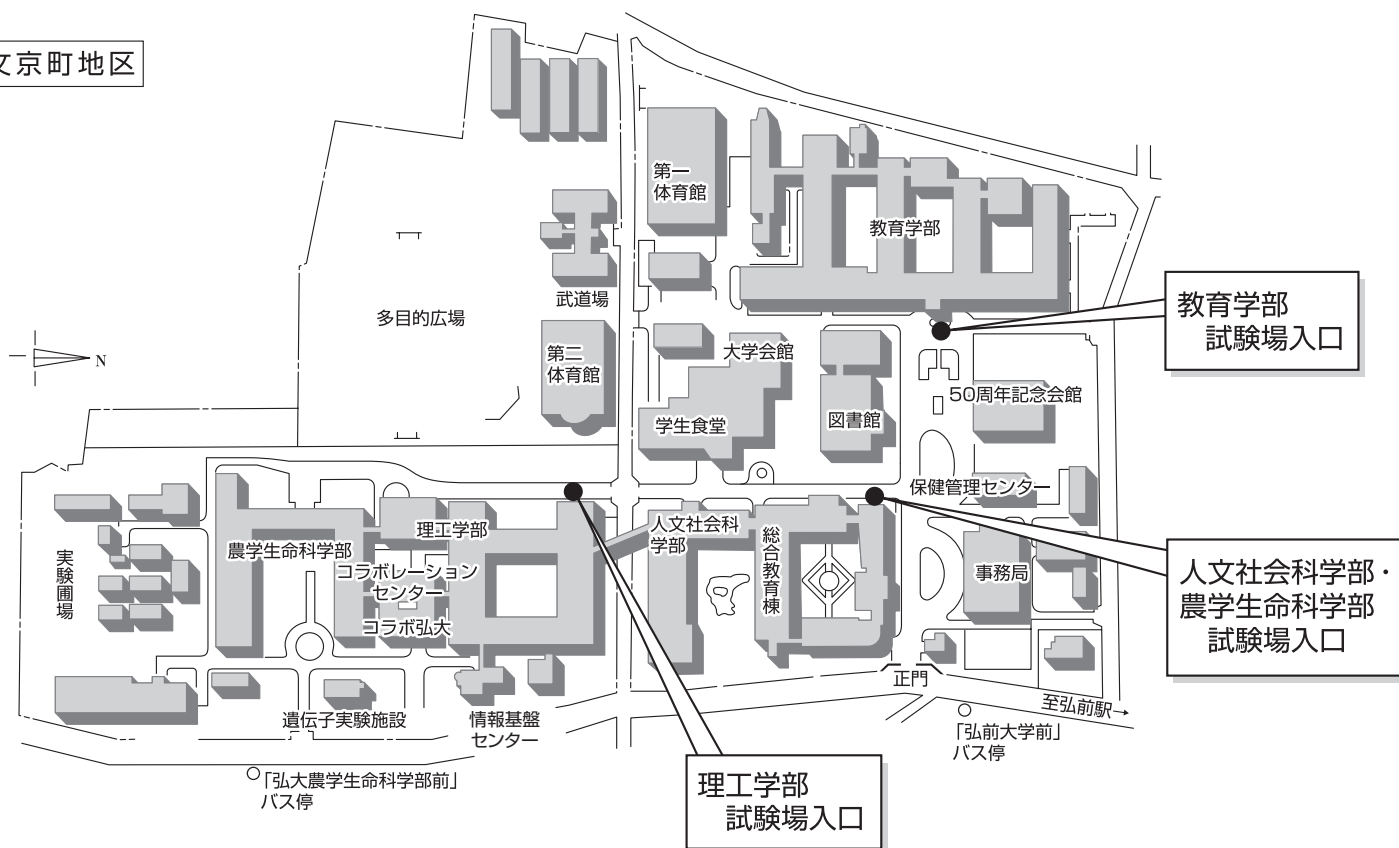
弘前大学入試情報ホームページ
<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>



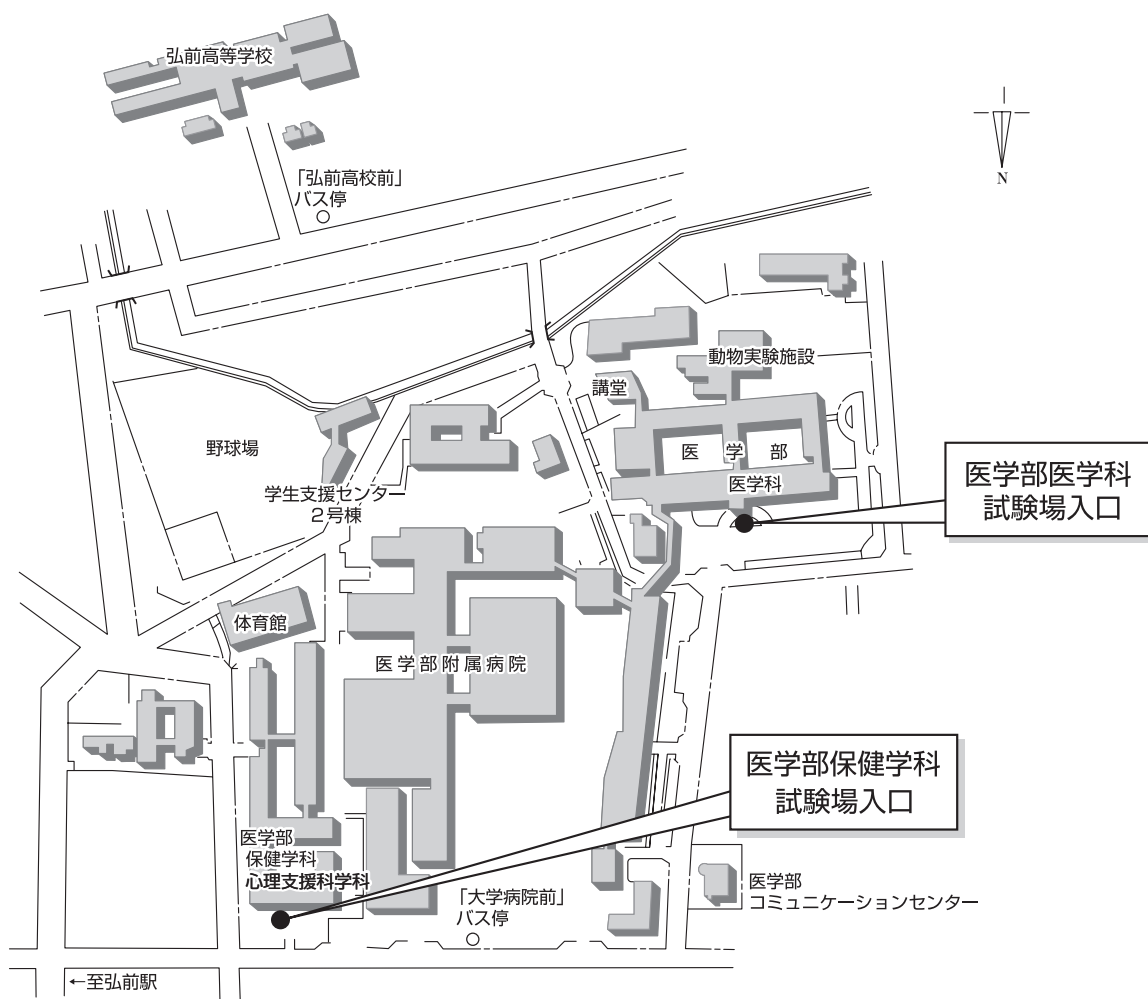
合格者発表, 出願状況, 試験当日の連絡
<https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>

弘前大学キャンパス略図

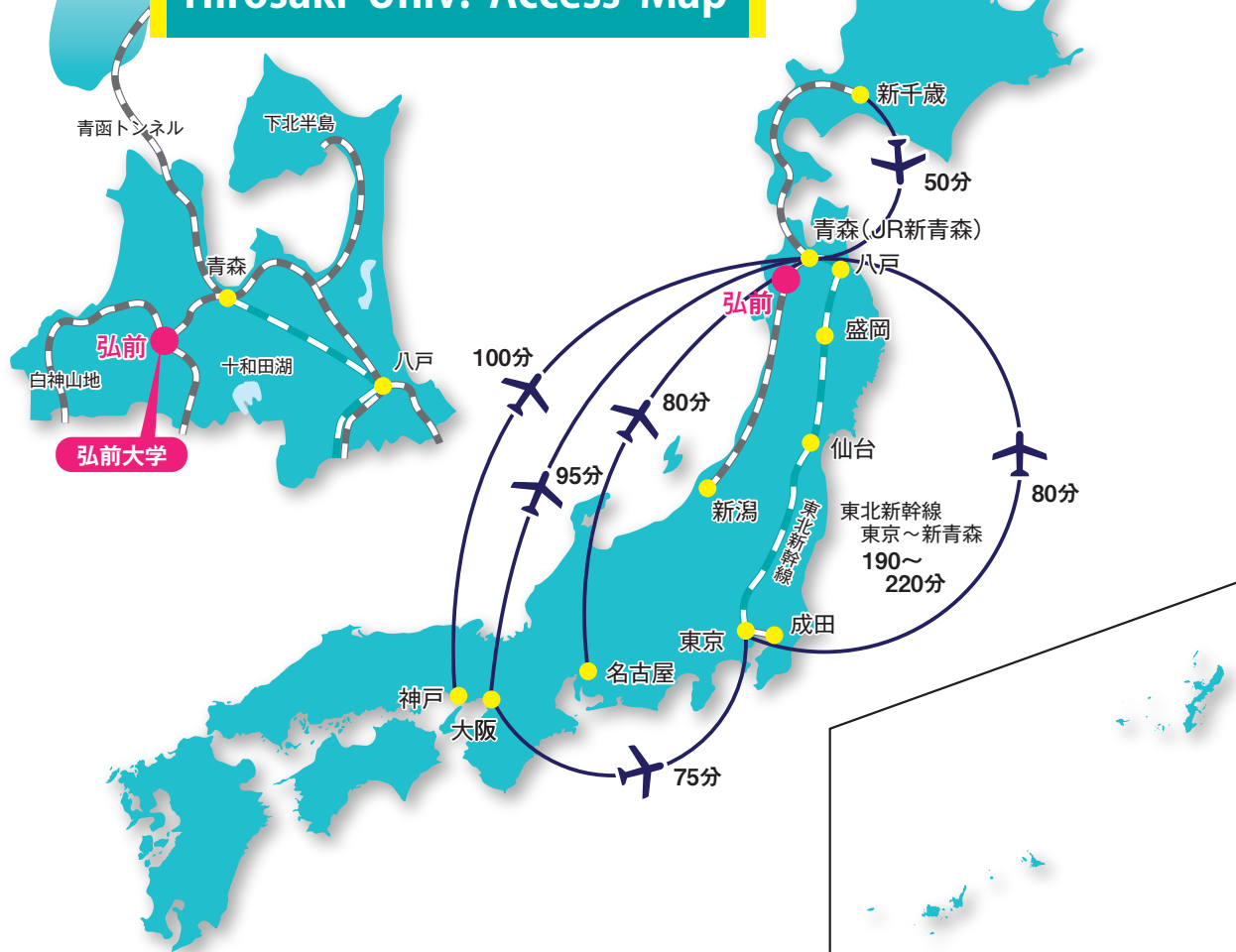
文京町地区



本町地区

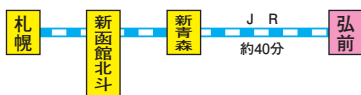


Hirosaki Univ. Access Map



弘前までの交通案内

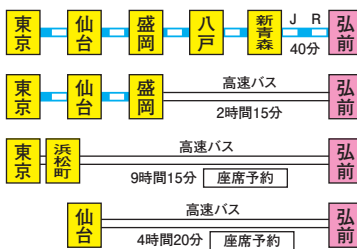
札幌・函館から



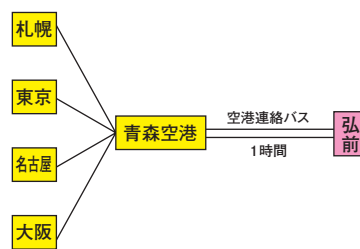
新潟・秋田から



東京・仙台・盛岡・八戸から



空路



HIROSAKI
UNIVERSITY

ロゴマークのコンセプト

弘前市が全国に誇れる「桜」をモチーフにし、5学部の桜の花が集結し、未来に向けひとつ大きな花を開花させるというイメージを図案化。中央にある丸は地球をイメージしており、弘前大学の卒業生がビジネス&研究において優秀な人材として貢献し、世界を飛びまわるという工夫を加えた表現にもしております。また、それぞれのカラーは、5学部のカラーを表現しており、(赤)医学部、(橙)教育学部、(緑)農学生命科学部、(紺)理工学部、(紫)人文社会科学部としています。さらに、地球の周りに桜をちりばめているようなイメージは、人工衛星的なイメージにも見え「地域発信の拠点となる弘前大学」という意味もあります。全体の色味としても現代風のカラーフルな色彩にしており、フレッシュ感と躍動感、そして楽しいキャンパスライフという活気に満ちあふれたマークに仕上がっています。